

資 料

吉田常夏編集『燭台』細目（二） —昭和3年11・12月号から昭和7年9月号まで—

The Contents of SHOKUDAI edited by YOSHIDA TOKONATSU 2
from November December 1928 to September 1932

加藤 禎 行
KATO Yoshiyuki

This article introduced the table of contents of the literary magazine "Candlestick" (SHOKUDAI) edited by YOSHIDA TOKONATSU. This magazine was published in Shimonoseki, Yamaguchi Prefecture from 1927 to 1932. This article covers the period from November December 1928 to September 1932.

本稿は、一九二七（昭和2）年十月から一九三二（昭和7）年九月まで、山口県下関市で編集発行された文芸雑誌『燭台』の細目を掲げる。現在、『燭台』の所蔵が公共図書館で確認できるのは、下関市立中央図書館の二七冊のみで、これを元にして、すでにワードプロセッサによる私製の総目次として、前田博司編『『燭台』目次 主要人名索引』（一九九七（平成9）年三月、一九九九（平成11）年六月増補）が作成され、下関市立中央図書館に所蔵されている。この先行する資料調査を踏襲しつつ、さらなる書誌調査を行うことで作成された細目が本稿である。紙数の関係から本稿では、一九二八（昭和3）年十一・十二月号から一九三二（昭和7）年九月号までを取り扱うこととする。

雑誌『燭台』の資料調査は、二〇一九（令和元）年度のみやまぐち文学回廊構想推進協議会の調査研究事業として、二〇一九（令和元）年一二月から二〇二〇（令和2）年三月にかけて実施された。この調査研究事業は、加藤禎行（山口県立大学）、中原豊氏（中原中也記念館）、井関和彦氏（山口県立山口図書館）の三名がワーキンググループとして取り組み、そしてまた、下関市立図書館、山口県立山口図書館から大きな協力を得た。以下に、本稿が取り扱う文芸雑誌『燭台』の概略を掲げておく。

雑誌『燭台』の発行者であった吉田常夏（一八八九（明治22）年～一九三八（昭和13）年）は、大正・昭和初期の詩人・編集者である。小説集『三都情話』（一九一八（大正7）年五月、三陽堂書店）、青柳有

美と河井醉茗の他序をそなえた恋愛警句集『朱唇秘抄』（一九一八（大正7）年十月、三陽堂書店）などの著作を残してはいるが、日本近代文学館編『日本近代文学大事典』（講談社）に吉田常夏の立項は見られない。

常夏は、一八八九（明治22）年四月二五日、東京市で産声を上げるも山口湯田の吉田家の養子となり、やがて下宇野令尋常高等小学校、山口中学校に学ぶ。やがて文学熱が高まり、常夏は雑誌『文庫』に新体詩の投書を始めている。一九〇五（明治38）年十六歳のとき、家族とともに東京に転居するが、以後の経緯については、常夏の妻吉田静代の回想録『ひとつの流れ』（一九七七（昭和52）年九月、光風社書店）が事情を伝えている。常夏は早稲田大学の高等師範部に一時、籍を置くも学業は続かず、『文庫』記者として詩欄を担当していた詩人河井醉茗の書生となり詩を志す。だが一九〇九（明治42）年、出版準備中だった第一詩集の原稿と校正刷を火災で焼失し、詩作への意欲を喪失した常夏は、一度、詩人としての活動をやめてしまう。以後、神戸大阪を転々としたのち、再び河井醉茗を頼り上京し、常夏は娯楽雑誌『うきよ』（一九一三（大正2）年三月創刊、楽文社）の編集に携わる。楽文社は、河井醉茗が編集していた『女子文壇』の発行元女子文壇社が別に立てた堂号で、吉田常夏は『うきよ』記者時代に、『女子文壇』記者の松井静代と出会い結婚する。しかし一九一四（大正3）年一月には楽文社を離れ、『読売新聞』の記者、三陽堂書店が出版した読み物の著述など、職を転々とし、一九一八（大正7）年に『中外商業新報』（日本経済新聞の前身）記者となり、一九二三

〈大正12〉年まで勤めた。この年九月の関東大震災を経て、一九二四〈大正13〉年八月、吉田常夏は山口県に戻り『関門日日新聞』記者となる。吉田静代の回想録『ひとつの流れ』が伝えるのはこの時期までである。

以後の常夏の生涯を窺い知るための資料に、吉田静代述・吉田生緒記の『燭台・常夏・下関』（『燭台』第3号・第4号、二〇〇二〈平成20〉年九月、二〇〇八〈平成26〉年六月、下関市で発行された同名異誌）がある。これは『ひとつの流れ』続編として口述筆記されたもので、下関時代の吉田常夏静代夫妻の生活と雑誌『燭台』の出版経緯を伝えている。

これに従えば、一九二七〈昭和2〉年四月、常夏は『関門日日新聞』記者として勤務中、社内で脳溢血のため倒れ療養生活に入り、その病床に集った地域の文学青年らと同年一〇月、『燭台』を創刊し、常夏は以後その編集に当たった。『燭台』は休刊や再刊を繰り返しながら一九三二〈昭和7〉年九月まで刊行が続けられる。その後一九三七〈昭和12〉年、常夏は妻静代と離別し、北九州小倉の愛人との生活に入り、一九三八〈昭和13〉年十月二十九日、小倉で永眠する。四九歳であった。そして東京に戻った妻の吉田静代は、これらの回想録を書き残し、一九九二〈平成4〉年に一〇一歳で亡くなっている。

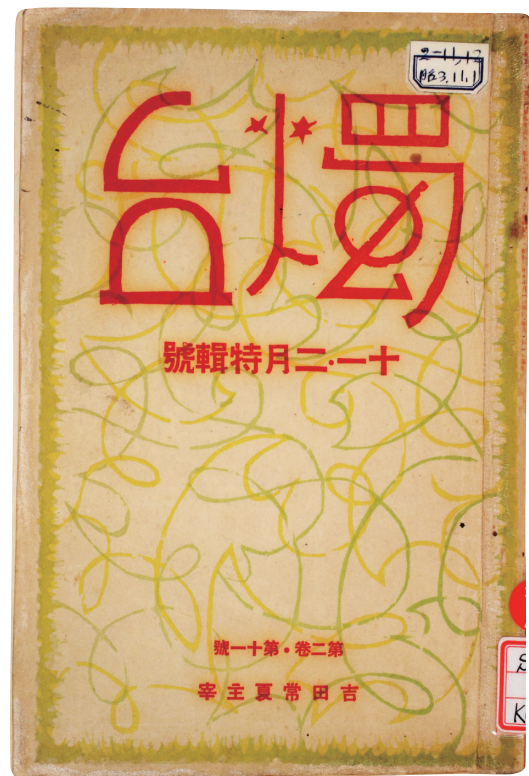
吉田常夏は『燭台』で、詩人として復活し数多くの詩作を発表することとなった。師にあたる河井醉茗は、常夏の詩への回帰を喜び繰り返し寄稿した。また編集者常夏は、中央文壇からの多くの寄稿者を獲得し誌面に賑わせている。表紙をプラトン社の図案家として知られた岩田専太郎や山名文夫に依頼して、同時代のモダニズム文化の雰囲気を与え、また、文藝春秋発行の雑誌『手帖』（一九二七〈昭和2〉年三月創刊）を模した「一ページ物原稿」欄も作られた。だが、その誌面構成は、『明星』『新聲』『文庫』などの明治30年代の詩歌を中心とした投書雑誌に近似しており、また各地に支部を設ける販路拡張や、投書家の交流を目的とした誌友会開催、「燭台清規」として投書家に示された投稿規定など、投書雑誌としての特徴が顕著に確認できる。『燭台』の大きな収穫としては玉井雅夫名義で執筆された九州若松の火野葦平の初期短篇を多く掲載したことが挙げられるが、宇佐川正明・兼崎地橙孫などこの時期のやまぐちの文学者の名も目次には見出せる。こうした名に混じりながら夭折する金子みすゞの童謡や、まだ十代だった和田健の初期詩篇も掲載されていった。

吉田常夏の尽力によって、近代的な港湾都市下関

から送り出された地方詩歌雑誌の気風は、やがて山口県の奥まった盆地にも伝播し、山口市の詩人たちを触発し、詩歌雑誌『詩園』（一九三八〈昭和13〉年九月創刊）が出版される。『燭台』の精神は『詩園』へと継承されながら戦後における〈やまぐちの文学〉の素地を形成していった。『詩園』は戦時下の後継誌『防長文学』（一九四三〈昭和18〉年十月誌名変更）、『山口県文学』（一九四四〈昭和19〉年十月諸雑誌との統廃合）、戦後の後継誌『文藝風土』（一九四五〈昭和20〉年十月誌名変更）にまで連なっていく。

もちろん近代の山口県における地方文芸雑誌の起点を『燭台』のみに求めるべきではない。山口県近代文学年表作成委員会編『山口県近代文学年表』（一九七二〈昭和47〉年三月、山口県教育委員会）が伝えるように、明治期・大正期の山口県で、地方文芸雑誌は肉筆回覧や活版印刷で刊行されていた痕跡が明瞭だ。ただそのほとんどが現在、確認・閲覧できず、今後もその現存確認の調査は継続されるべきだ。ともあれ吉田常夏が残した『燭台』は、〈やまぐちの文学者〉たちの歩みを考えるうえで、少なくとも昭和期の展開における起点となる重要な雑誌だった。

『燭台』第二巻第一号（昭和三年一一月一日発行）



【判型】縦223mm 横151mm

【奥付】

昭和三年拾月廿五日印刷／昭和三年拾壹月壹日発行
(毎月一回一日発行)

編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介

印刷人 下関市西南部町 中野吉蔵

印刷所 下関市西南部町 関門商況通信社 印刷部

発行所 下関市上田中町一三五三(略下関富田屋町)
燭臺詞寮

発売所／御註文所 下関市富田屋町 常夏荘 振替
口座下関一二〇七〇番

定価四十銭

表紙とカット(木版自刻) 加藤雅胤

裏表紙(木版自刻) 世良立雄

カット(木版自刻) 松下辰男

カット(木版自刻) 大野勇

カット(木版自刻) 手島翠抱

奉祝(*詩) 吉田常夏 1

子らの遠足(*短歌5首) 中島哀浪 2

返歌(*短歌4首) 菊地剣 2

山茶花(*短歌10首) 中河幹子 2

汐干狩 故郷の山々(六)(*短歌15首) 生田蝶介
3

まざあ・ぐうす(*小説) 玉井雅夫 4

西瓜畑(*小説) 津田厚志 9

東田のM坊主(*小説) 満井信太郎 12

夜の画像、夜の売りもの、或る夜宮にて(*詩3篇)
加藤介春 16

秋の詩稿(*詩3篇) 吉田常夏 18

白金の壺(*短歌欄)

東行庵即景(*短歌10首) 山中茂樹 20

七首(*短歌7首) 石井憲一 20

東行庵吟行(*短歌16首) 大野満 21

近作(*短歌5首) 宇佐川正明 21

秋日憂愁(*短歌14首) 山中俊次 22

病中吟(*短歌9首) 山田たくみ 22

雑歌(*短歌4首) 出口繁数 23

詠草(*短歌8首) 藤富敬二 23

コスモス(*短歌10首) 直塚淳 23

齋藤閑子氏を悼みて(*短歌14首) 山本康夫 24

山萩(*短歌8首) 藤井優紀子 25

木犀(*短歌5首) 藤富恒子 25

母上(遺稿)(*短歌3首) 齋藤閑子 25

秋の歌(*短歌5首) 中川芳江 25

閑子様のみたまに(*短歌11首) 恵波紀代子 26

指の聴心器(*詩)

昼、美しい鱗、なまめかしい暴風(*詩3篇) 加藤
雅胤 27

陽・草・虫(*詩1篇) 後藤哀子 28

古城跡と新月(*詩1篇) 星野胤弘 29

海の哀惜(*詩1篇) 原善磨 29

晴れゆく殺戯(*詩1篇) 大庭紫朗 31

思秋夜之譜、浮雲(*詩2篇) 名村春一郎 32

秋の片貌(*詩1篇) 加藤史郎 32

北海に泳ぐ赤鯉(*詩1篇) 石井初雨 33

通勤、憂愁の花(*詩2篇) 田中利男 34

瘦せた酒房(*詩1篇) 東潤 35

月下寂禱(*詩1篇) 藤井文次郎 35

運動会、秋・就職難(*詩2篇) 山川和夫 37

ひかりと气象台(*詩1篇) 林歌津路 38

しのびよる秋(*詩1篇) 松岡朝音 39

詩話詩評(『燭台』十月号の詩を読みて)(*評論)

加藤介春 27

一人一首(一周年号)(*評論) 大野満 34

前号歌評(*評論) 山本康夫 37

反射爐 40

『三部假名鈔言釋』に就て『二』(*評論) 大野満
42

寂びの遊仙窟(*随筆) 秋良春夫 44

藤井君の思ひ出(*随筆) 萩野健二郎 48

閑子様病床記(*随筆) 相良市子 49

翡翠の糞(*俳句欄)

芭蕉林(*俳句7句) 三宅清三郎 53

昼のラツパ(*俳句5句) 庄司鶴仙 53

如法寺(*俳句5句) 厨川千江 53

野菊(*俳句5句) 兼崎地橙孫 54

曼珠沙華(*俳句5句) 久保白船 55

雲かげ(*俳句9句) 多田青士 55

初秋遊草(*俳句10句) 河村蟻介 55

曙の金鉞脈(*詩欄) 56

黒房秘曲(*詩1篇) 山本榕二／焼芋売り(*詩1

篇) 山本秀雄／ある晩(*詩1篇) 白石軍司／き

りぎりす、水車番(*詩2篇) 角田啓／秋の森林、

淋しい時(*詩2篇) 村路博／佗しい性格の表現

(*詩1篇) 佐々木幹夫／山鹿詩篇(思ひ出)(*詩

2篇「寒雀」「御言葉) 島田磬也

新藁の匂ひ(*民謡欄) 60

沼邊情景(*民謡2篇)後藤加奈緒/人の噂も・秋風も(*民謡1篇)戸須比呂志/秋の葎原、泣くな妹(*民謡2篇)椎野桂風/月に五位鷺(*民謡1篇)林田ひさし

三万三千哩(*随筆) 河村幸次郎 62

怨父(*小説) 馬場星湖 67

うとくなる(*小説) 藤代信之 70

紅葉を焚く(*俳句欄) 73

(*俳句6句)三宅今年竹/(*俳句5句)恒成鳴石/(*俳句5句)伊藤春外套/(*俳句6句)梅崎秋刀魚/(*俳句8句)室中甲児/(*俳句6句)西野紅鵲
橙黄子先生選(*俳句欄) 74

(*俳句1句)石田素秋/(*俳句1句)富岡翠山/(*俳句1句)小倉真依知/(*俳句1句)徳永蛙聲/(*俳句1句)小田筑城/(*俳句1句)橋爪崕松/(*俳句1句)阿部晩成/(*俳句1句)あべなみじ/(*俳句1句)村田春夢

兼崎地橙孫先生選(*俳句欄) 75

(*俳句2句)板倉菁果/(*俳句1句)西村薫花/(*俳句1句)村上清

燭台京城句会(*俳句欄) 75

(*俳句1句)名取岳水/(*俳句1句)横矢閑堂/(*俳句1句)阿部みどり/(*俳句1句)阿部初津代/(*俳句1句)庄司鶴仙/(*俳句1句)庄司信子
公孫樹の銚(*短歌欄) 76

朝々の霧(*短歌11首)松本真砂路/帰郷折々(*短歌8首)岩本哀汐/夏より秋へ(*短歌7首)吉本万二郎/疼む齒(*短歌9首)原田葉秋/近詠(*短歌3首)三浦正美/山杷子(*短歌5首)松隈秀夫/母(*短歌5首)赤司忠夫/青海島(*短歌5首)河内山茂/花売り(*短歌5首)奥田妥兌子/秋風(*短歌5首)木本思水/梧桐(*短歌3首)藤本貞治/熊本行(*短歌6首)武田庫夫

岬の花(*詩1篇)郷籐枝/叱られて(*詩1篇)丘野美砂雄/磯の夕照(*詩1篇)夢島眠/秋日雑唱(*詩1篇)鳥井利之/眼くらむ(*詩1篇)山下寛治 80

吉田吟行歌会記録(*評論) 三浦正美 73

東行庵與太行(*評論) 風信子 76

故斎藤閑子女史追悼歌会(*評論) 山中俊次 78

『燭台』第十回歌会(*評論) 山中俊次 80

女人風景(*詩欄) 82

日の光(*童謡1篇)金子みすゞ/ひとみ(*詩1篇) 山中葉子/のぞきめがね、傘と虫(*詩1篇童謡1篇)莊原

照子/乗物、秋(*詩2篇)相澤群子/秋、赤い花(*詩2篇)磯永つる子/かるかや、電灯(*詩2篇)権藤美美子/秋が来た朝、明日(*詩2篇)山本春子/かひのは(*詩1篇)遠木千枝子/白月(*詩1篇)関屋みつる/雨だれ(遺稿)(*詩1篇)齋藤閑子

神経の蠟燭(*詩欄) 86

灯台、新しい煙突(*詩2篇)寺田友一/鉄(*詩1篇)佐々木伊和緒/階段橋(*詩1篇)水戸思香/雨の降る晩は、センチメンタルな追想(*詩2篇)阿川芳雄/星よ、友を慕ふ、秋(*詩3篇)定村康文/アルバム、ノック(*詩2篇)竹穂/秋顔(*詩1篇)上村はるみ/戯れ(*詩1篇)久恒梅夫/出発(*詩1篇)茂木順/虫ぼし(*詩1篇)山本いさむ/稲田の感情(*詩1篇)西田香蘭/風(*詩1篇)江村不死男/電車に乗る(*詩1篇)山川武男/鳴かないでお呉れ、手紙(*詩2篇)石橋実/魚を釣る男(*詩1篇)福島陸一郎/風・風(*詩1篇)長尾烏女弁/刈り取られぬ畦(*詩1篇)應賀十八訳・露・M・ニエクラソフ

狭霧の香水(*短歌欄) 92

(*短歌8首)園路重子/(*短歌7首)林田ひさし/(*短歌8首)菅本露村/(*短歌6首)吉鹿芳明/(*短歌6首)萱村敏/(*短歌7首)椎野桂風/(*短歌5首)田中幸雄/(*短歌5首)橋爪崕松/(*短歌5首)河村紅村/(*短歌5首)古川岩雄/(*短歌5首)千々原夏樹/(*短歌5首)應賀十八/(*短歌4首)遠藤秀男/(*短歌4首)渡邊花衛/(*短歌3首)高野守晴/(*短歌3首)西野紅鵲/(*短歌3首)奥本まさる/(*短歌3首)徳永恵美子/(*短歌3首)古屋清/(*短歌3首)小堂茂/(*短歌5首)朝日奈昇緑/(*短歌2首)夢島眠/(*短歌2首)手島翠抱/(*短歌2首)郷月光/(*短歌2首)藻玉/(*短歌2首)古永千司/(*短歌2首)宮地鳴雨/(*短歌2首)中見正二/(*短歌2首)村上喜與志/(*短歌1首)江村不死男/(*短歌1首)田中由比子
赤金の群像(*詩欄) 96

銀色の会見(*小曲1篇)菊川キニル/埠頭の思ひ出(*小曲1篇)美久谷銀吉/寂しき待人(*小曲1篇)渡邊智/口紅、秋の雨(*小曲2篇)森田愁哀/靴の音(*小曲1篇)石橋野恵子/物思ひ(*小曲1篇)岡崎満壽子/朝(*小曲1篇)宮原はるみ/さみだれ(*小曲1篇)香月文雄/寂しき宵(*小曲1篇)櫻ひさし/海(*小曲1篇)林ひとみ/涙(*小曲1篇)神山維沙夢/旅の子(*小曲1篇)香賀山淳
お千代坊(*民謡1篇)河内しげを/古郷の秋の歌

(*民謡1篇)川崎松夫/別れし友(*民謡1篇)手島翠抱/朝顔(*民謡1篇)内川萃月
 労働者の児(*詩1篇)宮地豊洲/秋の蠅(*詩1篇)田原正夫/己は判らぬ(*詩1篇)小柳紫風/別れし友よ(*詩1篇)後藤磨砂登/故郷を想ふ(*詩1篇)河村紅村/旅人(*詩1篇)宗照夫/第二の未練(*詩1篇)柏木夫見子/沼(*詩1篇)服部堅/秋の曲(*詩1篇)高野守晴/馬関(*詩1篇)金子光紅/暗(*詩1篇)村上喜与志/或日の彼(*詩1篇)沖永美翠/栗(*詩1篇)橋爪崕松
 呂月君を悼む(*随筆)杉山飛雨 100
 街と草地(*随筆欄) 102
 故郷を追はるる歌(*随筆)永野俊一/日記帳より(*随筆)林歌津路
 呂月氏追悼句会(*評論) 田中彗星子 100
 十一月の燭台の会 102
 催物の予告 103
 編輯後記 吉田常夏 104
 寮友詞友往来 ノンブル外
 誌友大懇親会記 ノンブル外
 寄稿清規と支部 ノンブル外

『燭台』第三卷第一号(昭和四年一月一日発行)



【判型】縦222mm 横150mm

【奥付】

昭和三年拾二月廿日印刷/昭和四年壹月壹日発行

(毎月一回一日発行)

編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介
 印刷人 下関市西南部町 中野吉蔵
 印刷所 下関市西南部町 関門商況通信社 印刷部
 発行所 下関市上田中町一三五三(略下関富田屋町) 燭臺詞寮
 発売所/御注文所 下関市富田屋町 常夏荘 振替口座下関一二〇七〇番
 定価五十銭

表紙(凸版) 岩田専太郎
 裏表紙(写真版) 芸術展光景
 カット(木版自刻) 加藤雅胤
 カット(木版自刻) 大野勇

年頭十五句(*俳句欄) ノンブル外

(*俳句5句)杉山飛雨/(*俳句10句)久保白船

燭台の会 御案内四ツ ノンブル外

序詩(*詩) 吉田常夏 1

自選詞華集 2

泉鏡花(*俳句2句)/生田葵(*俳句1句)/石原純(*短歌1首)/生田春月(*短歌2首都々逸1篇)/石樽千亦(*短歌1首)/今井邦子(*短歌3首)/生田蝶介(*短歌3首)/萩原朔太郎(*詩2篇)/馬場孤蝶(*俳句3句)/半田良平(*短歌3首)/橋田東聲(*短歌3首)/原阿佐緒(*短歌1首)/早川幾忠(*短歌2首)/花岡謙二(*短歌1首)/服部嘉香(*詩3篇)/徳田秋聲(*俳句1句)/小山内薫(*俳句1句)/大倉桃郎(*俳句3句)/尾上柴舟(*短歌1首)/岡麓(*短歌2首)/尾山篤二郎(*短歌3首)/尾崎喜八(*短歌3首)/沖野岩三郎(*短歌1首)/金子薫園(*短歌3首)/川崎杜外(*短歌3首)/河井醉茗(*詩3篇)/川路柳虹(*詩2篇)/上司小剣(*俳句1句)/横光利一(*詩1篇)/吉田一穂(*詩2篇)/横瀬夜雨(*短歌1首、詩1篇)/与謝野晶子(*短歌3首)/吉井勇(*短歌1首)/吉植庄亮(*短歌1首)/高山辰三(*短歌2首)/対馬完治(*短歌3首)/内藤銀策(*短歌3首)/中原綾子(*短歌3首)/長田幹彦(*俳句1句)/中西悟堂(*詩2篇)/室生犀星(*俳句2句)/村野次郎(*短歌1首)/宇都野研(*短歌3首)/臼井大翼(*短歌1首)/野口雨情(*詩2篇)/窪田空穂(*短歌3首)/久米正雄(*俳句3句)/久保田万太郎(*俳句2句)/前田夕暮(*短歌3首)/松村英一(*短歌3

- 首)／福田正夫(*詩3篇)／福永渙(*俳句2句)／
 近藤浩一路(*俳句2句)／西條八十(*詩3篇)／里
 見淳(*俳句1句)／佐藤春夫(*俳句1句)／佐々木
 信綱(*短歌1首)／北原白秋(*短歌3首)／岸田国
 士(*詩1篇)／三木露風(*詩3篇)／島崎藤村(*
 漢詩1篇)／日夏耿之介(*詩2篇)／須藤藤鐘一(*
 短歌3首)／杉浦翠子(*短歌2首)
 ※末尾に「自選詞華集」の由来が吉田常夏により記
 されている。
- 彼女の進出(*小説) 西口紫溟 19
 狐の出る挿話(*小説) 玉井雅夫 23
 初潮集(*短歌欄)
 病む子を看護して(*短歌8首) 窪田空穂 27
 済南拾遺(*短歌8首) 齋藤瀏 27
 太宰府にて(*短歌10首) 中島哀浪 28
 身邊雑唱(*短歌7首) 楠田敏郎 28
 霜がれ(*短歌5首) 服部嘉香 29
 林鳴る夜(*短歌4首) 金子薫園 29
 南窓の扉(*詩欄)
 海獣(*詩1篇) 加藤介春 30
 芭蕉の葉蔭で真夏の夜(*詩1篇) 中西悟堂 32
 洪水前(*詩1篇) 吉田一穂 33
 昴星、朴の木(*民謡2篇) 松村又一 34
 鳥小屋の雨(*童謡1篇) サトウ・ハチロー 35
 友情の噴水(二十章) (*詩1篇) 吉田常夏 36
 明治年間の創作民謡(*評論) 河井醉茗 38
 三部假名鈔言釋に就いて(三) (*評論) 大野満 41
 昔々商売往来記(*評論) 財木冬母 45
 反射爐 50
 天彦集(*短歌欄)
 奉祝歌(*短歌9首) 高尾朝花 52
 拾ひ集めて(*短歌8首) 大野満 52
 晩秋雑詠、あるとき(*短歌12首) 大田哀歌鳥 53
 アカシヤ(*短歌10首) 直塚淳 53
 菊盛、秋の海(阿知須の浦にて) (*短歌8首) 宇
 佐川正明 54
 入院二ヶ月(*短歌15首) 山田たくみ 54
 寂心抄(*短歌5首) 出口繁数 55
 秋冬雑詠(*短歌4首) 石川ゆたか 55
 御大典(*短歌5首) 毛利雨一樓 56
 月あかり(*短歌12首) 藤井優紀子 56
 手帳より(*短歌9首) 梅津一郎 57
 思ひ出(*短歌7首) 三浦瑞穂 57
 宮島行(*短歌12首) 山中俊次 57
 秋さび(*短歌20首) 持田勝穂 58
 芸術展覧会にて(*短歌12首) 山本康夫 59
 秋(*短歌9首) 石井憲一 60
 奉祝御大典(*短歌8首) 山中茂樹 60
 暁の誕生(*詩欄)
 散歩、十一月(*詩2篇) 米田俊 61
 私にうたへる、神社の境内の熊(*詩2篇) 萩野健
 二郎 62
 冬、寂(*詩2篇) 藤井文次郎 62
 怪異なる生の眺望(*詩1篇) 吉田峡路 63
 夜空、栗の実(*詩2篇) 原善磨 63
 五月の丘、清夜(*詩2篇) 名村春一郎 64
 酔中戯(*詩1篇) 佐川信一 64
 寂しい夜の戯画(*詩1篇) 加藤史郎 65
 冷い風(*詩1篇) 阿南哲朗 66
 出発、落葉、やどかり(*詩3篇) 麻生茂 66
 寂しい欲情、朝の感謝——花を贈りし少女に——(*
 詩2篇) 村田秀緒 67
 錨(航海日誌より)、上陸命令(*詩2篇) 大庭紫朗
 67
 黎明に立てる騎士(*詩1篇) 加藤雅胤 68
 芋粥(*詩1篇) 山本榕二 68
 ふくら雀(*民謡欄)
 稲刈り唄、夜なべの唄(*民謡2篇) 後藤加奈緒 70
 宇部の港、大将陣から(*民謡2篇) 林田ひさし 70
 涙、田圃の夕空(*民謡2篇) 戸須比呂志 71
 マツチ(*民謡1篇) 渡邊智 72
 街の鼻——ゲームとり女の唄——(*民謡1篇)
 中村暢 72
 農民小唄(*民謡1篇) 角田啓 73
 雪の峠路(*民謡1篇) 椎野桂風 73
 詩話詩評(前月号の詩を読みて)、詩筆七章(*評論)
 加藤介春 74
 前号一人一首評(*評論) 大野満 76
 東都詩歌人巡礼(*随筆) 松井静代 78
 どんど燃ゆ(*俳句欄)
 冬日小景(*俳句6句) 久保白船 82
 菊盛(*俳句5句) 佐々木巽 82
 旧師の間(*俳句5句) 厨川千江 82
 月(*俳句5句) 高木進一路 83
 旅の一日二日(*俳句7句) 兼崎地橙孫 83
 秋の水(*俳句4句) 樹下迪耕 83
 大霧(*俳句5句) 三宅今年竹 84
 草紅葉(*俳句4句) 田中彗星子 84

草ぬくき(*俳句7句) 庄司鶴仙 84
 燭台雑詠 杉山飛雨先生選(*俳句欄) 85
 (*俳句4句)竹内青山/(*)俳句4句)村川寛/(*)
 俳句4句)徳永蛙聲/(*)俳句1句)暗鳴軒紅鶴/(*)
 俳句1句)淳歩/(*)俳句1句)真依
 山彦集(*短歌欄) 86
 (*短歌9首)恵波紀代子/(*)短歌9首)安永にいち
 /(*)短歌9首)帆足美緒/(*)短歌7首)赤司忠夫/
 (*短歌10首)岩本哀汐/(*)短歌13首)松本真砂路/
 (*短歌7首)原田葉秋/(*)短歌10首)三浦正美/
 (*短歌6首)中川芳江/(*)短歌9首)濱野京子/
 (*短歌4首)西村薫花/(*)短歌4首)江口風樹/
 (*短歌5首)河内山茂/(*)短歌5首)長尾烏女弁/
 (*短歌5首)武田庫夫/(*)短歌7首)松隈秀夫/
 (*短歌5首)吉本万二郎
 真冬の風琴(*短歌欄) 93
 坑夫の歌(*短歌11首)藤田晋一/秋空へ(*短歌5
 首)郷籌枝/うけた盃(*短歌6首)佐柳良雄/病後
 (*短歌5首)東しげる/斜層の曝露(*短歌5首)入
 江道夫/運動会を観る(*短歌3首)小村砂美子/歌
 二首(*短歌2首)荒木秀男/晩秋のうた(*短歌2
 首)島村李城/玲人誕生(*短歌1首)山下寛治
 燭台歌会(第十一回)(*評論) 山中俊次 86
 燭台詩話会(*評論) 山中葉子 89
 第三回歌会報(*評論) 大庭紫朗 94
 まゆみ会句抄(*俳句) 96
 燭台京城句会(*俳句) 96
 真昼の垂絹(*詩欄) 98
 黄海短唱(*詩1篇)石井初雨/憂鬱を捨てる(*詩
 1篇)永野俊一/秋の晴れた日には(*詩1篇)阿川
 芳雄/街をあゆむ(*詩1篇)山川和夫/食欲(*詩
 1篇)村路博/女ごゝろ(*詩1篇)島田磬也/かる
 ぼ(*詩1篇)山本秀雄/冬、花火(*詩2篇)新谷竹
 穂/秋野の印象(*詩1篇)通木逸郎/ほぶらの木
 (*詩1篇)佐々木幹夫/華かな夢(*詩1篇)寺田友
 一/春、樹木(*詩2篇)池田龍雄/宇宙(*詩1篇)
 小柳紫風/小曲(*詩1篇)木本白汀花/祈祷(*詩
 1篇)桑田たけし/木の葉(*詩1篇)相川充/朝(*
 詩1篇)川崎松夫/或る時の旅(*詩1篇)犀川泗牛
 /くちづけ、こひ草(*詩2篇)林歌津緒
 女人風景(*欄) 105
 大人になる、冬(*詩2篇)山地群子/霧笛(*詩1
 篇)莊原照子/冷春詩譜、少女(*詩2篇)廣野ふみ/
 十二月、すゞかけ(*詩2篇)権藤芙美子/蜜柑の木、

思慕(*詩2篇)山本春子/歎き、孤独——逝きし人
 に——(*詩2篇)関屋みつる/帰る心、無題(*詩
 2篇)河本よし子/池畔にて(*詩1篇)遠木千枝子/
 すがた(*詩1篇)北川笑靨花/優曇華(*詩1篇)奈
 宮紅実子/出産(*詩1篇)煎口しず子/桃色の心(*
 詩1篇)小松葉子/丘の上で(*詩1篇)金子みすゞ
 街と草地(*随筆欄) 110
 万覚帳(一)(*随筆)出口繁数/極彩色煌々燭台(*
 詩1篇)藤代信之/旧友の思ひ出(*随筆)相本清三
 /鹿兒島便り(*随筆)三増美歌子/雪月花(*詩3
 篇)田上耕作/新年を迎ふるに際して(*随筆)橋爪
 崕松/海峡小劇場誕生の会(*随筆)K生/歌稿一首
 (*随筆)イノウエ・サクジ
 星の点線(*詩欄) 115
 生活に喰い入った趣味(*詩1篇)中村不二男/子守
 唄、秋(*詩2篇)水原純一/ひねくれた女(*詩1
 篇)福田葉瑠雄/独者日記(*詩1篇)杉原冷光/晩秋
 (*詩1篇)山川武男/暗(*詩1篇)住吉愛染/弔旗
 にぶら下つた夢(*詩1篇)五十嵐紫雪/苺田(*詩1
 篇)西江詩朗/霧の夜(*詩1篇)江村不死男/下駄
 の跡(*詩1篇)福島陸一郎/ぶどう(*詩1篇)内川
 萃月/墓場へ(*詩1篇)久垣梅夫/卵(*詩1篇)渡
 邊智/晴れざる空(*詩1篇)田村久仁夫/月魄(*詩
 1篇)徳永恵美子/木枯らし(*詩1篇)神山維沙夢/
 菊(*詩1篇)杉山明士/あの子(*詩1篇)楠野攸甫
 /寂しき秋(*詩1篇)金子光清/知らざればこそ(*
 小曲1篇)山本いさむ/九月のなごさ(*小曲1篇)定
 村康文/秋空(*小曲1篇)水戸思香/弁解(*小曲1
 篇)石橋実/美ちやん(*小曲1篇)服部九二一/初恋
 の人(*小曲1篇)藤野与詩夫/胸の中(*小曲1篇)
 甲木文造/明るみの道(*小曲1篇)古長千司/春の
 宵(*小曲1篇)服部堅志/白百合(*小曲1篇)宗照
 夫/たはむれ(*小曲1篇)西田幸夫/おつくり(*民
 謡1篇)新納晩雨/娘いそゞろ(*民謡1篇)小野東
 洋/父なき故郷(*童謡1篇)大曲恒一/落葉(*童謡
 1篇)西野紅鶴/虹(*童謡1篇)河内志げを
 海彦集(*短歌欄) 121
 (*短歌10首)橋爪崕松/(*)短歌8首)藤井徳元/
 (*短歌7首)千々原夏樹/(*)短歌6首)伊志波稔/
 (*短歌6首)岩見榮子/(*)短歌6首)椎野桂風/
 (*短歌5首)萱村敏/(*)短歌5首)周南葉子/(*)
 短歌5首)千代田松夫/(*)短歌5首)遠藤秀男/(*)
 短歌5首)奥田妥兌子/(*)短歌5首)松村普平/(*)
 短歌5首)菅本鶴松/(*)短歌4首)園原秋造/(*)短

歌4首)増岡ひさし/(*短歌4首)古川光雄/(*短歌4首)牛見正二/(*短歌4首)西野紅鶴/(*短歌4首)石川潤治/(*短歌4首)縄田平三郎/(*短歌4首)吉鹿芳明/(*短歌4首)田中幸雄/(*短歌3首)高野守晴/(*短歌3首)遠木千枝子/(*短歌3首)有福しげ子/(*短歌2首)應賀十八/(*短歌2首)宗照夫/(*短歌1首)香川文雄/(*短歌1首)山本いさむ/(*短歌6首)田中代志雄/(*短歌5首)須波はす子/(*短歌2首)須藤潤作/(*短歌3首)前田豊秋/(*短歌4首)稲葉種生/(*短歌4首)南風村伸郎/(*短歌3首)城山公之助/(*短歌3首)吉弘実/(*短歌4首)穂志尾讓/(*短歌2首)米田常舗

編輯後記 吉田常夏 126

謹賀新年(誌上名刺交換) 127

芸術展の感謝 松井静代 127

寮友誌友往来 128

新刊寄贈書目 132

寄稿清規と支部 134

※後ろ表紙に燭台芸術展覧会の写真版をあしらう。

『燭台』第三卷第二号(昭和四年二月一日発行)



【判型】縦228mm 横151mm

【奥付】

昭和四年一月廿五日印刷/昭和四年二月一日発行
(毎月一回一日発行)

編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介

印刷人 下関市西南部町 中野吉蔵

印刷所 下関市西南部町 関門商況通信社 印刷部

発行所 下関市上田中町一三五三(略下関富田屋町)

燭臺詞寮

発売所/御註文所 下関市富田屋町 常夏荘 振替
口座下関一二〇七〇番

定価四十銭

表紙(凸版) 岩田専太郎

裏表紙(曲譜) 佐々木道夫

カット自刻 大野勇

カット自刻 加藤雅胤

カット自刻 松下辰男

俳諧をどり(*詩) 佐藤惣之助 1

待春小唄(三十章)(*詩) 吉田常夏 2

市長と豚(*小説) 玉井雅夫 4

喰はれた歩行(*小説) 高島美智雄 11

主を狙ふ犬(*戯曲) 大西文策 15

港湾行進曲(*シナリオ) 津田厚志 18

六号地帯(*雑録欄)

詩話詩評(新年号)(*批評) 加藤介春 24

新年号歌稿(*批評) 対馬完治 26

前号歌評(*批評) 大野満 28

余技の俳句(*随筆) 喜撰法師 29

防長歌人評(*批評) 宇佐川正明 30

故森本一碧氏の追想(*随筆) 松下龍児 31

天彦集(*短歌欄)

泰山木(*短歌10首) 松本仁 33

旅の歌より(*短歌6首) 大野満 33

霜の朝(*短歌11首) 高尾朝花 34

新年雑詠(*短歌12首) 宇佐川正明 34

糸島行(*短歌9首) 持田勝穂 35

年頭の所感(*短歌12首) 梅津一郎 35

雪降るころ(*短歌9首) 藤井優紀子 36

彦山残雪行(*短歌12首) 山田たくみ 37

折に觸れて(*短歌8首) 石川ゆたか 37

武雄温泉行(*短歌10首) 直塚淳 38

生活雑唱(*短歌14首) 山中俊次 38

- 病臥の春(*短歌5首) 藤崎杏水 39
 師走集(*短歌8首) 山中茂樹 39
 桃色の明星(*詩欄)
 身体の部屋、雨の日(*詩2篇) 萩野健二郎 40
 樹を創る(*詩1篇) 原田種夫 41
 冬林黙思、寂唱(*詩2篇) 藤井文次郎 41
 蒼い思想に殺される 或は祝祭的な防死線(*詩1篇) 大庭紫朗 42
 鴉(*詩1篇) 星野胤弘 43
 想華薄暮、冬の晩の賦(*詩2篇) 山本榕二 43
 帰って来た想念(*詩1篇) 林歌津路 44
 しじみ貝の歌(*詩1篇) 石井初雨 45
 曼珠沙華(*詩1篇) 山本秀雄 45
 深夜の街道、灯台(*詩2篇) 加藤史朗 46
 ある悲しき情景(*詩1篇) 阿南哲朗 47
 時、純心(*詩2篇) 佐々木幹夫 47
 冬晴、二月、丘の風景(*詩2篇) 原善磨 48
 魚と子供の眼と(*詩1篇) 後藤哀子 48
 雪の朝、雪(*詩2篇) 米田俊 49
 反射爐 50
 冴返る(*俳句欄)
 吉書反古(*俳句5句) 兼崎地橙孫 52
 初明り(*俳句4句) 近藤浩一路 52
 落葉(*俳句5句) 厨川千江 52
 梅茶屋(*俳句6句) 伊藤春外套 53
 笹鳴き(*俳句6句) 西野紅鵲 53
 双六(*俳句5句) 竹内青山人 53
 女人風景(*詩欄) 54
 ひとりなれば、太陽(*詩2篇)小松葉子/私の心、見知らぬ愛人、秘めた心(*詩3篇)山地群子/蒼空(*詩1篇)関屋みつる/椿の実、少女心(*詩2篇)河本よし子/雪の宵(*詩1篇)磯永つる子/髪、私の夜(*詩2篇)山本春子/めにるもんたん(*詩1篇)遠木千枝子/秋、薬局(*詩2篇)権藤芙美子/時と少女(*詩1篇)右田双葉/晩秋(*詩1篇)西島夕子/解脱の横顔に(*詩1篇)廣野ふみ
 里の土産(*民謡欄) 58
 白挽き唄、狐(*民謡2篇)角田啓/生れ故郷の、どうでも駄目だと(*民謡2篇)林田ひさし/所願なら(*民謡1篇)應賀十八/女工哀唱、あらし(*民謡2篇)中村暢/さ、やき(*民謡4篇)岩崎みどり/渡り鳥、村の娘(*民謡2篇)椎野桂風/坑内小唄(*民謡1篇)戸須比呂志/牧山峠(*民謡1篇)後藤かな緒
 山彦集(*短歌欄) 62
 (*短歌7首)赤司忠夫/(*短歌8首)武田庫夫/(*短歌9首)岩本哀汐/(*短歌7首)中川芳江/(*短歌7首)三浦正美/(*短歌7首)小林はじめ/(*短歌9首)原田葉秋/(*短歌5首)松本真砂路/(*短歌8首)帆足美緒
 豊旗雲(*短歌欄) 66
 鈴音(*短歌14首)山下寛治/霜日低唱(*短歌5首)吉本万二郎/柿の実(*短歌2首)前田法嶺/霞の音(*短歌2首)丘野美砂雄/母の愛(*短歌4首)田中代志雄/広告ビラ(*短歌2首)南風村伸郎/旅愁篇(*短歌9首)東しげる/浅草漫步(*短歌8首)藤田普一
 燭台雑詠句集(*俳句欄) 71
 (*俳句5句)徳永蛙聲/(*俳句5句)小倉真依知/(*俳句4句)淳歩/(*俳句3句)村上虚詩/(*俳句3句)恒成愁聲
 『燭台』歌会記事(第十二回) 山中俊次 62
 詩話会記事 65
 燭台懇親会の記 松井静代 68
 京城燭台句会(*俳句) 庄司鶴仙 71
 五色の春(*詩欄) 72
 秋宵譜、題のない詩(*詩2篇)村田秀緒/種蒔き(*詩1篇)川崎松夫/生命の輝やき(*詩1篇)増岡ひさし/たそがれの点景、無題、師走のレストオランダ(*詩3篇)阿川芳雄/妻の言葉、こゝろ(*詩2篇)板倉充/踏切(*詩1篇)寺田友一/河原断章(*詩1篇)麻生茂/蟻よ(*詩1篇)水原純一/昔の恋人よ(*詩1篇)杉原冷光/胸(*詩1篇)美久谷銀吉/草原よ(*詩1篇)桑田たけし/万年筆(*詩1篇)長尾梅喜/憂鬱、二十三の歌(*詩2篇)定村康文/私、少女(*詩2篇)新谷竹穂/星の舞踏場(*詩1篇)内川華月/歳晩・新春・貧乏(*詩1篇)小坊博/重心に喘ぐ(*詩1篇)通木逸郎/憂鬱、陽気なる憂鬱(*詩2篇)池田龍雄
 海彦集(*短歌欄) 山中俊次選 78
 (*短歌9首)吉鹿芳明/(*短歌7首)應賀十八/(*短歌6首)濱野京子/(*短歌5首)田中幸雄/(*短歌5首)松村晋平/(*短歌6首)村上虚詩/(*短歌4首)西野紅鵲/(*短歌3首)周南葉子/(*短歌4首)園原秋造/(*短歌2首)河村紅村/(*短2歌首)遠藤秀男/(*短歌2首)坪井義郎/(*短歌3首)縄田平三郎/(*短歌3首)石川潤治/(*短歌4首)木本静園/(*短歌5首)隅田あさを/

(※短歌5首)二宮まさみ／(※短歌5首)小野東洋／
(※短歌7首)河内山茂／(※短歌7首)千々原夏樹／
(※短歌8首)橋爪岨松／(※短歌7首)増岡ひさし／
(※短歌4首)吉川幸良／(※短歌4首)椎野桂風／
(※短歌4首)額賀巖／(※短歌3首)萱村敏／(※短歌3首)菅本鶴松

星の点線(※詩欄) 82

夢(※詩1篇)小柳紫風／冬(※詩1篇)西江詩朗／雨
の日曜日(※詩1篇)阿部武司／地球台(※詩1篇)淵
清郎／窮へ投げける言葉(※詩1篇)桑羽狂光／優勝盃
(※詩1篇)大曲恒一／逝ける友へ(※詩1篇)田村久
仁夫／月明(※詩1篇)上村肇

かりそめに(※小曲1篇)池部策郎／山の波(※小曲
1篇)水戸思香／少女ごゝろ(※小曲1篇)林與一／
月(※小曲1篇)河村紅花／吸取紙(※小曲1篇)朝地
深雪／口笛(※小曲1篇)藤野与詩夫／静夜(※小曲
1篇)津守光治郎／夜(※小曲1篇)津々浦美加代
お話こそは(※民謡1篇)田中小菊／親の前だよ(※
民謡1篇)小野東洋／雪(※民謡1篇)須藤潤作／紅
の花(※民謡1篇)常盤すみれ

けむり(※童詩1篇)田原泰／山(※童詩1篇)笈嘉一
郎／じやくろ(※童詩1篇)松尾正美／はくさい(※
童詩1篇)林幸二郎／きくの花(※童詩1篇)久良知
章悟／石やさん(※童詩1篇)松尾登利夫／向ふの島
(※童詩1篇)矢嶋靖／くも(※童詩1篇)川田久子／
けむり(※童詩1篇)八木延／なみさん(※童詩1篇)
小川澄子／ももの木(※童詩1篇)河野利子／しんぶ
んがみ(※童詩1篇)田仲芳子／うまとおちさん(※
童詩1篇)安藤登志子／あめ(※童詩1篇)大西苑子
／詩の教室から(指導者の言葉) 中村暢

街と草地(※随筆欄) 87

賀状受箱(※随筆)松井静代／忍従(※随筆)藤井文次
郎／奈良の鹿(※随筆)島村量三／最善至高の道(※
随筆)長谷川紫映／『洋服細民』自嘲(※随筆)四國三
郎

寮友誌友往来 87

編集後記 吉田常夏 90

燭台の会 短歌会詩話会 90

寄稿清規と支部 ノンブル外

※後ろ表紙に佐々木道夫曲・北原白秋詩「こんこん
小雨」の楽譜をあしらう。

『燭台』第四卷第一号(昭和五年十一月一日発行)



【判型】縦207mm 横181mm

【奥付】

昭和五年十月二十五日印刷納本

昭和五年十一月一日発行

発行所 下関市上田中町一三五三 燭台詞寮

発売所 下関市富田屋町 常夏荘 振替下関
一二〇七〇番

編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開
介

印刷人 下関市観音崎町四〇番地 島村亀松

印刷所 下関市観音崎町四〇番地 島村印刷所

定価三十銭

表紙(凸版) 山名文夫

扉(木彫) 出口繁数

扉(詩) 河井醉茗

カッタ(木彫) 高島静史

裏表紙(木彫) 藤永貞男

燭台詩経(※詩) 河井醉茗 1

天彦帖(※短歌欄) 2

颱風小吟(※短歌3首) 田中四郎 2

寒時雨(※短歌5首) 菊池剣 2

行厨、田圃所見(※短歌8首) 三谷蘆華 3

草・魚・祭(※詩欄) 4

蝗、火葬場(*詩2篇)阿南哲朗/人間(*詩1篇)松極雅胤/しあわせが来るんだと思つて待つてみたのに(*詩1篇)福島利通/ばらの花、風景(*詩2篇)角田啓/彷徨者の心裡、魂の言ひわけ(*詩2篇)山根三十路/生活のプロフェキル(*詩1篇)高島静史/わかれ(*詩1篇)新谷竹穂/七月(*詩1篇)原田昭二/空の饗宴、星と空(*詩2篇)村山真沙緒/木乃伊(*詩1篇)小柳紫風/短唱(*詩11篇)西江詩朗/なやみ、秋(ある若き夫人の訃に)(*詩2篇)吉田常夏

日傘月傘(*民謡欄) 16

秋雨よ(*民謡1篇)後藤加奈緒/帆かけ船、船頭小唄、朝草刈り(*民謡3篇)下田陽炎/秋深む、きぎす(*民謡2篇)大関聳城/蛭(*民謡1篇)西野紅鶴/コスモスの花(*民謡1篇)定村康文/夕顔の花(*民謡1篇)寺田友市

山彦集(*短歌欄) 21

秋雑詠(*短歌7首)出口繁数/故郷の蛭(*短歌11首)橋爪崕松/瓶の花(*短歌3首)原田葉秋/秋(*短歌6首)御喜戒三/下駄の緒(*短歌6首)河内山茂/月草(*短歌5首)木本白汀/あきかぜ(*短歌6首)吉山松雄/をりをり(*短歌10首)山本康夫

金蝙蝠旗(*詩欄) 26

六月の海邊、別れ路(*詩2篇)すみだ・あけみ/五月の風景、冬の午後(*詩2篇)西田啓一郎/田舎の秋(*詩1篇)川崎松夫/道、あふい(*詩2篇)植谷忠夫/陰影、十五夜お月さん(*詩2篇)松野静波/かへらうよ(*詩1篇)村岡博/死神(*詩1篇)溝部正道/たちんぼう(*詩1篇)豊村紫陰/尊さ(*詩1篇)三ノ丸正雄/君が胸(*詩1篇)山本薫/宵、丘の花畑(*詩2篇)田賀林一鳩/朝(*詩1篇)五十嵐麟/淋しき夜(*詩1篇)高木時熊

海彦集(*短歌欄) 35

出仕事(*短歌6首)吉鹿芳明/棕櫚の葉(*短歌7首)佐藤幸緒/青い海(*短歌4首)三井章之助/秋草(*短歌6首)牛見桃村/雑詠(*短歌3首)岩中不孤/笥の水(*短歌2首)安部孤涯/水無月雑唱(*短歌4首)安達栄三/松島湾(*短歌3首)村上虚詩/草笛(*短歌3首)安部小太郎

女人風景(*詩・短歌欄) 39

想ひ、道(*詩2篇)相澤群子/ある風景(*詩1篇)小原孔雀子/指先(*詩1篇)原田エミキ/思慕(*詩1篇)花田敬子/妻の責(*短歌5首)山本紀代子/犬の死(*短歌5首)中川芳江/いのち(*短歌6

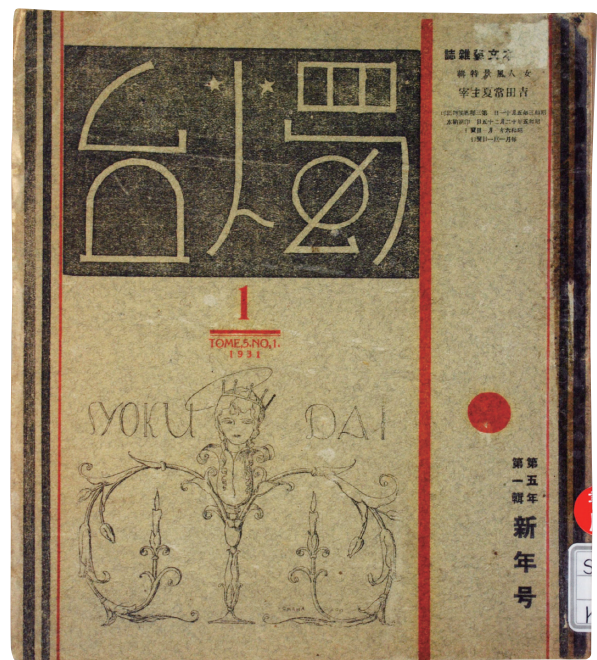
首)山本しづ子/春逝く(*短歌4首)縄田百合合/秋髪(*短歌2首)草野麗夢/をりをり(*短歌3首)可々生信子/冬日抄(*短歌5首)河本よし子
展望地図(*雑録欄) 45

卓上小言(*評論)四國三郎/みみずのたわごと(*評論)青木風景/海峡の街に告ぐ(燭台復活号を立脚点として)(*評論)高島静史/体温線山脈(*随筆)吉田常夏

燭台消息 50

燭台清規 ノンブル外

『燭台』第五卷第一号(昭和六年一月一日発行)



【判型】縦205mm 横184mm

【奥付】

昭和五年十二月二十五日印刷納本

昭和六年一月一日発行

発行所 下関市上田中町一三五三 燭台詞寮

発売所 下関市富田屋町 常夏荘 振替下関
一二〇七〇番

編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開
介

印刷人 下関市観音崎町四〇番地 島村亀松

印刷所 下関市観音崎町四〇番地 島村印刷所

定価三十銭

表紙(凸版) 山名文夫

扉(自刻) 船杉丑男

カッタ(自刻) 富永徳司
カッタ(自刻) 高島静史
カッタ(自刻) 梶畑芳雄
裏表紙(自刻) 志熊幸太郎

燭台詩経(*詩1篇) 河井醉茗 1

白羊宮(*詩欄) 2

夜(*詩1篇)加藤介春/ロウリング(*詩1篇)北原
白秋/春に燃えない(*詩1篇)井上康文/凶案(*
詩1篇)吉田常夏

巨蟹宮(*短歌欄) 8

日々吟(*短歌5首)田中四郎/温室群花(*短歌10
首)松本仁/印旛沼余情(*短歌10首「吉植庄亮氏を
訪ひし折」7首、「一日終る」3首)矢島歡一

寶瓶宮(*詩欄) 10

胃、朝(*詩2篇)松極雅胤/たより、たましひ(*
詩2篇)林歌津路/朝の野菜市場、落ち髪(*詩2篇)
福島利通/黒い蛸、秋(*詩2篇)萩野健二郎/おも
ひ(*詩1篇)白石軍司/子供のうた(*詩1篇)山本
秀雄/蟋蟀、四季とレター、心臓(*詩3篇)村山真
沙緒/原稿紙、ガラス(*詩2篇)原田昭二/追慕(*
詩1篇)新谷竹穂/短唱、愚妻の父を葬ふ(*詩2篇)
西江詩朗/秋、おちば、秋の雨(*詩3篇)小柳紫風
/口笛、労働(*詩2篇)三ノ丸正雄/馬(*詩1篇)
名村春一郎/追想、朝(*詩2篇)阿南哲朗/鉄の詩
一通木逸郎へ—(*詩1篇)原善磨

金牛宮(*短歌欄) 25

上京(*短歌11首)武田庫夫/時雨(*短歌7首)江原
青鳥/秋夜詠(*短歌8首)宇佐川正明/遊草(*短
歌7首)河内山茂/観艦式抄(*短歌4首)四國三郎
/霜どけ(*短歌4首)奥田妥兌子/アスパラガス
(*短歌3首)木本白汀/母を思ひて(*短歌6首)松
本真砂路/伝書鳩(*短歌6首)原田葉秋/師走(*
短歌10首)橋爪崕松/十二月七日(*短歌3首)吉山
松雄/雑詠(*短歌2首)立野漠/冬ざれ(*短歌5
首)梅津一郎/折々(*短歌3首)出口繁数

人馬宮(*民謡欄) 32

暴風の前(*民謡1篇)佐野操/秋(*民謡1篇)角田
啓/忘れな草(*民謡1篇)大関聳城/思ひ切らずに
(*民謡1篇)寺田友市/恋慕(*民謡1篇)赤星緋慕
紫/山の娘さま(*民謡1篇)老岐本まさを/大漁唄
(*民謡1篇)徳光義明/農家の娘(*民謡1篇)逸木
ミノル/飴屋さん(*童謡1篇)窪田昏宵/でゞ虫
(*童謡1篇)高木時熊/伝馬船の唄(*民謡1篇)森

永正徳/夢(*童謡1篇)重栞堇/恋心(*民謡1篇)
江島菁子/なぎさの岩(*民謡1篇)定村康文/娘心
に、逢曳き(*民謡2篇)下田陽炎/波にもまれて(*
民謡1篇)後藤加奈緒

獅子宮(*詩欄) 44

ある真夏のコンポジション(*詩1篇)福田葉瑠雄/
彼女の笑窪(*詩1篇)五十嵐麟/唇、短章(*詩2
篇)植谷忠夫/牛糞哲学、秋は悩まし(*詩2篇)朝
路深雪/落葉(*詩1篇)西田啓一郎/夜霧、時計(*
詩2篇)川崎文忠/柿(*詩1篇)松野静波/一人ぼ
つち(*詩1篇)田加林一鳩/貨物列車(*詩1篇)北
村大学/雨ふりの日(*詩1篇)豊村紫陰/ひとり者
(*詩1篇)村岡博/淋しき愛(竹本君を偲びて……)
(*詩1篇)服部カタ詩/岬小情(*詩1篇)友光輝夫
雙魚宮(*短歌欄) 53

木犀(*短歌4首)松隈秀雄/暮秋風景(*短歌10首)
佐藤幸夫/伊豆の地震(*短歌5首)村瀬行雄/稲か
り(*短歌3首)小西涙果/近詠(*短歌2首)岩中不
孤/柿の実(*短歌3首)上城多苦味/山里(*短歌
8首)坂口哲男/貧居(*短歌3首)市原歌路

女人風景 雙女宮(*詩欄) 56

ゆめ、ゆく秋(*詩2篇)相澤群子/冬、蠅(*詩2
篇)慰田陽子/夕暮(*詩1篇)すみだ・あけみ/蘆
屋、オール流して(*詩2篇)原田エミキ/なやみ(*
詩1篇)小原孔雀子/月夜(*詩1篇)三戸すみ子/
来ぬ人(*詩1篇)平野文子/思ひ出(*詩1篇)常盤
すみれ/湯殿、紅き玉、夢の花(*詩3篇)磯永つる
子/この頃、心(*詩2篇)柴田政子/涙(*詩1篇)
筒井敏子

女人風景 室女宮(短歌欄) 64

晩秋(*短歌7首)河本よし子/秋雑詠(*短歌5首)
山本しづ子/黒髪(*短歌4首)岡田静枝/友(*短
歌2首)児玉文代/葉末の露(*短歌2首)草野麗夢
/雪空(*短歌2首)藤井優紀子

創作畑(*小説欄) 66

空虚を抱いた踊子(*小説) 高島静史 66

小唄、松の葉(*詩2篇) 河井醉茗 75

七時五分前(*随筆欄) 76

童話風なる(*随筆) 方壽院翰太郎 76

或る手紙(*詩) 山根三十路 76

或る夜の想念(*随筆) 柳澤晃 77

断想集録(*評論) 四國三郎 78

復活(*随筆) 今津正勝 78

燭台軟扇子(*随筆) 関門倉若磨 79

常夏荘にて(*随筆) 高島静史 80
春の言葉(*随筆) 吉田静代 82
四先輩の握手(*随筆) 脇坂開介 83
燭台信號旗 84
心臓鼓譜(*後記) 吉田常夏 高島静史 85
燭台清規、送稿規定 ノンブル外

『燭台』第五卷第二号(昭和六年二月一日発行)



【判型】縦209mm 横186mm

【奥付】

昭和六年一月二十五日印刷納本

昭和六年二月一日発行

発行所 下関市上田中町一三五三 燭台詞寮

発売所 下関市富田屋町 常夏荘 振替下関

一二〇七〇番

編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介

印刷人 福岡市渡邊通四丁目 間藤次郎

印刷所 福岡市渡邊通四丁目 秀巧社印刷所

定価三十銭

表紙 山名文夫

扉自刻 船杉丑男

カット自刻 高島静史

裏自刻 高島静史

燭台詩経(*詩1篇) 河井醉茗 1

歌謡篇(*歌謡欄) 2

即興(*歌謡1篇)河井醉茗/おけら、短唱(*歌謡2篇)後藤加奈緒/勢多の唐橋、瀬戸の女波(*歌謡2篇)橋本良輔/糸屋の娘、花にふる雨(*歌謡2篇)林田久胤/小倉長浜、お仙(*歌謡2篇)逸木ミノル/泣顔蝙蝠さん(*童謡1篇)窪田昏宵/河原の芒(*歌謡1篇)松野静波/焼印、世話(*歌謡2篇)徳光義明/花車(*歌謡1篇)矢野勝美/磯千鳥(*歌謡1篇)江島菁子/返り花(*歌謡1篇)山崎光郎/意地(*歌謡1篇)重栴堇/こゝろ(*歌謡1篇)高木時熊/新天地小景(*歌謡1篇)壹岐本まさを/八幡の鶴(*歌謡1篇)森永笛流/麦畑(*歌謡1篇)中尾仙松/遠くはなれて、流れ雲(*歌謡2篇)定村康文/想ひ淡雪(*歌謡1篇)下田陽炎/収穫の唄(*歌謡1篇)谷武志/山のたより(*歌謡1篇)佐野操

短歌篇1(*短歌欄) 14

生ひたつ子(*短歌8首)大野満/海の虹(*短歌4首)河野紫行/空(*短歌5首)藤崎杏水/雲仙小景(*短歌12首)須田伊波穂/黄櫨の実(*短歌10首)南部友也/拾遺(*短歌9首)石井憲一/颶風小吟(其二)(*短歌5首)田中四郎

散文詩篇(*詩欄) 17

少女達(*詩1篇)米田俊/秋の霧(*詩1篇)島田磬也

詩篇1(*詩欄) 20

男と女(*詩1篇)加藤介春/笛(*詩1篇)松極雅胤/夕ぐれ(*詩1篇)方壽院翰太郎/冬の夜、炭素に想ふ(*詩2篇)原田昭二/乳房、落葉(*詩2篇)村山真沙緒/鉄(*詩1篇)増岡ひさし/月夜蟹(*詩1篇)角田啓/白薔薇(*詩1篇)寺田友市/手のある魚、身体の一部(*詩2篇)萩野健二郎/編集、頂点、火事(*詩3篇)吉田常夏

短歌篇2(*短歌欄) 30

冬の雑草(*短歌4首)松隈秀夫改め東條寺紀次郎/折々(*短歌3首)出口繁数/歳末(*短歌4首)帆足美緒/身辺雑詠(*短歌9首)橋爪崑松/兄の遺児(*短歌7首)河内山茂/筑紫野(*短歌4首)木本白汀/凧水(*短歌3首)吉山松雄/貨車の牛(*短歌4首)原田奈々郎/立春(*短歌3首)小林元/吾子(*短歌8首)江原青鳥/落霜紅(*短歌7首)宇佐川正明/ある時の歌(*短歌7首)山本康夫

短唱篇(*詩欄) 34

切り石の陽(*詩1篇)後藤潤/若さ吐息(*詩1篇)

西江詩朗/火事(*詩1篇)柳原歌津詩/春(*詩1

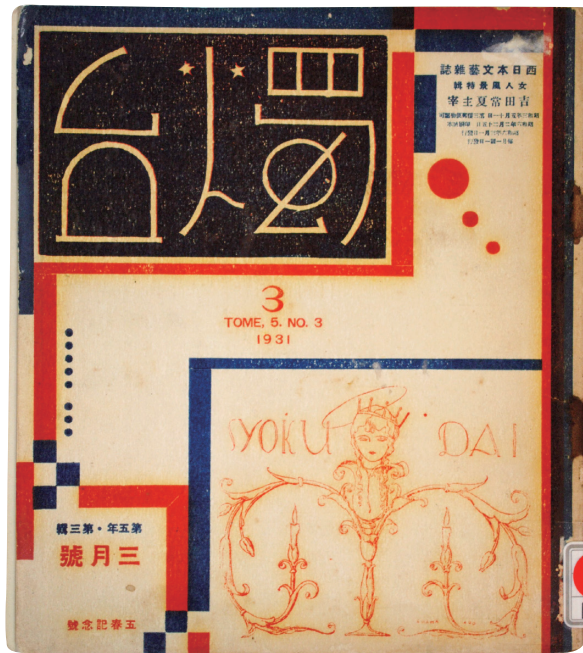
篇)松木淳／カナリヤ(*詩1篇)上田權治
詩篇2 (*詩欄) 37
弾・オチらしい詩——佐藤惣之助さんに——(*詩
1篇)越智弾政／回青橙の花が咲くころ(*詩1篇)
名村春一郎／命ずる(*詩1篇)原田種夫／石(村落
詩集『村の生活』の著者上野頼三郎へ)、火(*詩2篇)
原善磨／春芽、深夜に生んだ太陽(*詩2篇)白石軍
司／自嘲詩篇(*詩1篇)浅井紫明／魔術(*詩1篇)
新谷竹穂／霧の画くシルエット(*詩1篇)井家上耕
一／真竹(*詩1篇)上村肇／春の即興(*詩1篇)加
藤史朗／雪となる晩(*詩1篇)山本秀雄／最後の詩
(*詩1篇)福島利通
詩篇3 (*詩欄) 48
奥さん解体(*詩1篇)五十嵐麟／戦車(*詩1篇)西
田啓一郎／酒場の風景(*詩1篇)青島俊吉／幼き浮
浪人(*詩1篇)立野漠／シヨーウキンドー(*詩1
篇)豊村紫陰／腹の虫(*詩1篇)西野紅涙／彼奴の
死、生きて行く宣言(*詩2篇)原源二／鶏(*詩1
篇)四國三郎
短歌篇3 (*短歌欄) 54
感ずるまゝに(*短歌8首)佐藤幸夫／雪(*短歌4
首)福本竜王／校庭(*短歌3首)中尾仙松／折りを
りの歌(*短歌6首)林田久胤／帰郷墓参(*短歌3
首)上城多苦味／王司温泉行(*短歌4首)萱村敏／
雪(*短歌5首)奥田免兌子／別れ路(*短歌2首)三
井章之助／雪(*短歌2首)田中真／雑詠(*短歌4
首)山中伸水／参詣(*短歌4首)岩中不孤／雲(*短
歌2首)岡部みのる／雑詠(*短歌2首)宗照夫／犬
の声(*短歌1首)江村梧花／正月(*短歌2首)高木
時熊／夕餉(*短歌1首)二五繁人／山茶花(*短歌
2首)福永のりひさ／雑詠(*短歌3首)仲田真紗志
／粉雪(*短歌2首)林圭之介／バナ、(*短歌2首)
山崎秀男／神棚(*短歌2首)山田舜堂／絵舩(*短
歌2首)大橋柏堂／母の手紙(*短歌1首)立野漠／
木枯(*短歌1首)安部史郎／寒気(*短歌2首)坂田
哲朗／母の手紙(*短歌1首)石川千哀／母(*短歌
1首)相良死華路／雀(*短歌2首)濱田壽樹
女人風景 短歌篇(*短歌欄) 60
五歳の甥(*短歌10首)河本よし子／友の家(*短歌
3首)可々生信子／想のままを(*短歌5首)三戸す
み子／落葉のかご(*短歌6首)巴城茂二香／病床雑
詠(*短歌3首)山本しづ子／いたつさ(*短歌8首)
黒瀬とよ子／噂(*短歌1首)草野麗夢／雪(*短歌
3首)冷泉淳子(*短歌3首)／雨の夜(*短歌2首)

岸須耶子／逝ける君(*短歌1首)恵良壽子／初日
(*短歌2首)立川文子／山茶花(*短歌2首)畑あや
子
女人風景 詩篇(*詩欄) 63
あきらめ(*詩1篇)関屋みつる／椿、冬、霧の夜(*
詩3篇)山本春子／煙(*詩1篇)横川冷子／醒めて
(*詩1篇)磯永つる子／幼女(*詩1篇)柴田政子／
こはされて(*詩1篇)岸須耶子／夕方、ほすすきの
(*詩2篇)原田エミキ／叱られて(*詩1篇)真田
矢恵子／無題(*詩1篇)恵良壽子／月(*詩1篇)福
原文子／雨(*詩1篇)阿部百合子／病魔(*詩1篇)
小原孔雀子／秋の夜(*詩1篇)清水八重子／鏡に向
ひて(*詩1篇)金田冷子／雪の日(*詩1篇)すみ
だ・あけみ／なぞ、或る日、はるかな人に(*詩3篇)
相澤群子
詩篇4 (*詩欄) 72
散歩、若き詩(*詩2篇)北村大学／春の午後(*詩
1篇)三ノ丸正雄／冬の日(*詩1篇)太田不二夫／
父(*詩1篇)岡屋清／別れて(*詩1篇)園田りよう
こ／唄(*詩1篇)植谷忠夫／早春(*詩1篇)川崎文
忠／菊(*詩1篇)加藤淳一郎／画像(*詩1篇)井生
直／春(*詩1篇)山本伸水／心の嵐(*詩1篇)塩野
一二／涙(*詩1篇)佐々木四絃／俺にあたへられた
幸福(*詩1篇)田加林一鳩／夜更け、昂奮(*詩2
篇)筒井次馬
燭台軟扇子 77
研究篇(*評論欄) 80
万葉集女流作品の鑑賞(一)(*評論) 田中四郎 80
スクラップ・洗心雑記断片(*評論) 磯邊節治 83
「絵画をみて詠める歌」に就て(*評論) 田中四郎
84
戯曲篇(*戯曲欄) 86
女敵討異聞(一幕)(*戯曲) 浦川常治 86
ユダヤに堕ちた同志(一幕)(*戯曲) 今津正勝 89
受贈誌 91
西部戦線(*随筆欄) 92
一月の詩(*随筆)加藤介春 92
壁の中から(*随筆) 田上耕作 92
同人雑誌と所謂大衆性に関して(*評論) 高島静史
93
メモから(*随筆) 四國三郎 95
生気を語る(*随筆) 木村司馬太 95
吾等のユートピア(*随筆) 田中真 96
※原誌ではpp97-98が失われている。阿南哲朗、川

崎文忠、後藤加奈緒の文章が掲載されていたと考えられる。

一月詩歌会例会の記(*随筆) 吉山松雄 99
心臓鼓譜 編輯後記 吉田常夏 100
信號旗 102

『燭台』第五卷第三号(昭和六年三月一日発行)



【判型】縦209mm 横184mm

【奥付】

昭和六年二月二十五日印刷納本

昭和六年三月一日発行

発行所 下関市上田中町一三五三 燭台詞寮

発売所 下関市富田屋町(菁莪校裏) 常夏荘 振替

下関一二〇七〇番

編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介

印刷人 福岡市妙楽寺新町六番地 亀井熊次郎

印刷所 福岡市妙楽寺新町六番地 九州薬報社 電

話三三六三番

定価四十銭

表紙 山名文夫

装幀 吉田常夏

扉詩 河井醉茗

扉自刻 船杉丑男

カット自刻 高島静史

裏自刻 高島静史

二月歌話会の写真(*口絵) ノンブル外

二月詩話会の写真(*口絵) ノンブル外

燭台詩経(*詩) 河井醉茗 1

研究篇(*評論欄) 2

萬葉集女流作品の鑑賞(二)(*評論) 田中四郎

スクラップ 洗心雑記より(*評論) 磯部節治

短歌篇1(*短歌欄) 12

翡翠(*短歌3首)藤崎杏水/陶の火鉢(*短歌7首)

大野満/博多情調(*短歌9首)高尾朝花/残雪(*

短歌12首)直塚淳/寒夜餘情(*短歌7首)竹内八郎

/長崎夜吟(*短歌13首)須田伊波穂/春の雪(*短

歌9首)江原青鳥/巖島(*短歌7首)山本康夫/秋

雨集(*短歌12首)鶴應夫/橋田東聲氏を悼む(*短

歌5首)吉山松雄/早春の池(*短歌1首)石川香村

/長門峡にて(*短歌10首)古谷以和雄/麦蒔(*短

歌6首)河野紫行/宝塚行(*短歌3首)田中四郎

散文詩篇(*詩欄) 8

海の秋、接吻(*詩2篇)米田俊/世界曲芸団(*詩

1篇)白戸郁之助/梟(*詩1篇)桑野潜/流滴(*詩

1篇)山田牙城/SAGAの街(シネリオの形式をか

りて)(*詩1篇)静河克美/女性と風景、音響(*

詩2篇)島田磬也

詩篇1(*詩欄) 22

雲の降る日(*詩1篇)小林正毅/古りし日に寄せる

の歌(*詩1篇)島居恵一/柳、つとひの言葉、蒼空

の詩(*詩3篇)荻野健二郎/季節の妖女(*詩1篇)

加藤史朗/春の海岸地帯、冬雨(*詩2篇)原田昭二

/竹(*詩1篇)通木逸郎/竹(*詩1篇)城艸之介/

秋、矢、頬、星(*詩4篇)村山真沙緒/榕樹の葉影

(*詩1篇)増岡ひさし/谷間(*詩1篇)江口武/む

らのある感情(*詩1篇)倉員放鳥/椿、夜(*詩2

篇)名村春一郎/背(*詩1篇)松極雅胤/白魚、ピ

クニック、茹で卵(*詩3篇)吉田常夏

歌謡篇1(*詩欄) 32

別府音頭、海の夕ぐれ(*詩2篇)後藤檜根/盆踊り

(*詩1篇)幸谷保/櫛搾唄(*詩1篇)持田勝穂/海

苔採り唄、鶴、若者(*詩3篇)角田啓/洞海宵唄、

秋は気まぐれ(*詩2篇)橋本驟雨/春、硝子工場(*

詩2篇)逸木ミノル/ひとり、小作(*詩2篇)下田

陽炎/港の灯、ぼんやりな(*詩2篇)徳光義明/生

れた星さま(童謡)(*詩1篇)佐野操/短唱五題(*

詩5篇)後藤加奈緒

詩篇2（*詩欄）42

ひぐらし（*詩1篇）中村伊佐治／怯やかすもの（*詩1篇）阿南哲朗／棕櫚の葉、樹氷、花園（*詩3篇）井家上耕一／春へ、春の素描（*詩2篇）萱村敏／伝道師のプロファイル、一人ぼつち（*詩2篇）宵島俊吉／かど出の詩（*詩1篇）新谷竹穂／はる（*詩1篇）相知行夫／冬（*詩1篇）福富玲児／春来る（*詩1篇）三ノ丸正雄／浜の酒場、如月（*詩2篇）千早静馬／月夜、停車場（*詩2篇）北村大学／春のたより、時雨（*詩2篇）藤井喜作／真理の世界を歩く（*詩1篇）太田不二夫／珍らしき快適（*詩1篇）原田種夫／とある海浜病院風景——或ひはある絵画の文字的表現——（*詩1篇）福田葉瑠雄／栄光—その一節（*詩1篇）高田唸坊／二つの喪失に就いて（*詩1篇）越智弾正

創作篇（*小説欄）54

麒麟（*小説）青木風景／幼き日の思ひ出（*小説）すみだ・あけみ／聖存（*小説）高島静史

戯曲篇（*戯曲欄）63

喧嘩以前（一幕四場）（*戯曲）浦川常治／桃園の闇（一幕）（*戯曲）有田青司

帆船（*挿画）山田種一 71

短歌篇2（*短歌欄）72

二月（*短歌27首）小塚龍生／ひとり寝（*短歌4首）帆足美緒／九官鳥（*短歌7首）橋爪崕松／内職（*短歌7首）河内山茂／酒だより（*短歌7首）木下秀夫／病める友に（*短歌4首）木本白汀／吾子の歌（*短歌12首）岩本哀汐／雑詠（*短歌5首）伊東紀陽二／春のメランコリー（*短歌10首）小林元／金丸与志夫に（*短歌7首）松隈秀夫／ラヂオ（*短歌14首）東原白村／ちぎれ雲（*短歌10首）安尾年逝／山嶽（*短歌3首）荒木つたゑ／関門海峡（*短歌6首）前田喜代人

短唱篇（*短歌俳句欄）78

早春（*俳句5句）兼崎地橙孫／一分間（*詩1篇）西江詩朗／傷心（*詩1篇）佐藤喬／四篇（*短歌4首）松木淳／雪の晴れて（*俳句5句）久保白船

詩篇3（*詩欄）80

人生、お母さん（*詩2篇）白石軍司／葬ひの記（*詩1篇）山本秀雄／履歴書を書く（*詩1篇）小柳紫風／青い夢の袋（*詩1篇）五十嵐麟

短歌篇3（*短歌欄）84

月（*短歌4首）福本龍生／焚火（*短歌10首）佐藤幸夫／櫟はら（*短歌10首）大橋柏堂／鳩（*短歌16首）

夢島潮花／春の雪（*短歌12首）藤村慶介／春光（*短歌9首）小田涙果／如月譜（*短歌5首）奥田妥兌子／故郷（*短歌3首）関徳太郎／しくれ（*短歌5首）原口秀一／雑詠（*短歌2首）副島典史／颱風の日（*短歌2首）久田惣三郎／受験生活（*短歌2首）田中秀雄／潮騒（*短歌5首）田坂秀雄

歌謡篇2（*詩欄）88

暗夜、恋心（*詩2篇）戸須比呂志／灯（*詩1篇）壹岐本まさを／村祭（*詩1篇）山崎光郎／朝の浜辺（*詩1篇）矢野勝美／夜鳥（*詩1篇）山本舜亮／忘れぐさ（*詩1篇）岡屋清果／火の町（*詩1篇）岡田武雄／日暮（*詩1篇）窪田昏宵／曇り（*詩1篇）谷武志／深山桜（*詩1篇）定村康文／旅の空（*詩1篇）江島菁子／南風（*詩1篇）大関聳城／重い頭（*詩1篇）高木時熊／海峡小唄（*詩2篇）中村暢／藤山小唄（*詩1篇）西野紅鶴

展望地図（*雑録欄）88

お断りに（*随筆）加藤介春 88

二月詩篇感（*評論）福島利通 88

燭台前月歌評（*評論）田中四郎 90

前号詠草評（*評論）大野満 93

二月例会歌会の記（*随筆）出口繁数 96

燭台詩会後記（*随筆）角田啓 99

みみずのたはごと（*随筆）栗湯河、土呂之介 105

女人風景 詩篇1（*詩欄）95

雨、天（*詩2篇）山本春子／心、喜び（*詩2篇）丘冷子／おそれ（*詩1篇）相澤群子／糸切歯、親友（*詩2篇）磯永つる子／淋しき幻（*詩1篇）眞田八重子／思ひ出（*詩1篇）平野小琴／麦刈り、すずらの鈴（*詩2篇）山本小窓／なやみ（*詩1篇）柴田政子／其の時、十八（*詩2篇）原田エミキ／古き詩集（*詩1篇）恵良壽子／ルンペン（*詩1篇）小原孔雀子／思ひ出（*詩1篇）岸耶須子／思ひ出、失恋詩人か（*詩2篇）渡邊和子

女人風景 短歌篇1（*短歌欄）103

母の命日（*短歌11首）河本よし子／雑詠（*短歌8首）山本しづ子／冬の日頃（*短歌4首）可二生信子／病床雑吟（*短歌7首）巴城茂二香／女聴講生（*短歌3首）江口むつ子／公園（*短歌4首）副島婦美子／雑詠（*短歌3首）恵良壽子／折々（*短歌4首）冷泉淳子／綿雪（*短歌3首）畑あや子／父（*短歌2首）川崎綾子／菊（*短歌5首）井川末子／立春（*短歌6首）花田敬子／別れ（*短歌5首）三戸すみ子

／純情(*短歌2首)立川文子／父の墓(*短歌1首)
田島政恵／春光(*短歌2首)藤井静／病みて(*短歌2首)岡原芳美／哀別(*短歌2首)三浦みさを／冬陽(*短歌6首)浮木ふじえ／入院(*短歌6首)中川芳江／人へ(*短歌4首)山中紀代子

女人風景 詩篇2 (*詩欄) 108

るつぼ(*詩1篇)井上狂子／少女(*詩1篇)長田政子／サイレン(*詩1篇)川崎綾子／乳色の夢(*詩1篇)金田冷子／職業婦人(*詩1篇)椎原美和子／月(*詩1篇)草野麗夢／淋しい町(*詩1篇)玉乃静代／愛の芽(*詩1篇)丘英美子／母を想ふ(*詩1篇)佐々木晴美／舞子人形(*詩1篇)尾花英子／片ゑくぼ(*詩1篇)中島美登女／思ひ出(*詩1篇)井川末子／雨の日(*詩1篇)末村茂子

短歌篇4 (*短歌欄) 110

春來集(*短歌10首)岡本柴秋／五人の女(*短歌5首)三井章之介／雑詠(*短歌5首)宗照夫／風景(*短歌4首)山本伸水／雑詠(*短歌7首)岩中不孤／おきふし(*短歌4首)田中幸雄／旅する心(*短歌4首)安部史郎／雪(*短歌10首)相良死華路／雑詠(*短歌4首)河内是空／雑詠(*短歌4首)山下若水／春來る(*短歌11首)村上虚詩／海(*短歌5首)坂梨清／雑詠(*短歌6首)上城多苦味／折々の歌(*短歌3首)濱崎兼一／雑詠(*短歌2首)田中しな雄／腕相撲(*短歌2首)高木時熊／女(*短歌3首)失名氏／雑詠(*短歌6首)中川琴磨留／元旦(*短歌1首)山田舜堂／太宰府にて(*短歌1首)佐藤高城／冬日(*短歌1首)内田光彦／夜(*短歌1首)稲永英一／雑詠(*短歌1首)稲光照山／卵と靴(*短歌2首)福富玲児

詩篇5 (*詩欄) 110

白い風車、朝霧(*詩2篇)丸山豊／古傷、逢曳き(*詩2篇)和田十寸／思ひ出がある(*詩1篇)水野静芽／十月(*詩1篇)藤原親信／夢(*詩1篇)山本若水／天国と地獄、春の風(*詩2篇)植谷忠夫／私の恋心(*詩1篇)山本静湖／森へ(*詩1篇)重柝花泉／君が心(*詩1篇)加藤英一／初恋(*詩1篇)小山弁二／恋心(*詩1篇)上田梅花／貴方だから(*詩1篇)川添露

詩篇6 (*詩欄) 113

鉄の処女と火葬場、宣言(*詩2篇)原源二／労働者と宵(*詩1篇)藤野与詩夫／首途(*詩1篇)宵草春羊／奪はれた畠と娘(*詩1篇)吉田愛作／春の反面(*詩1篇)山本伸水

詩篇7 (*詩欄) 118

六月の感情、眉(*詩2篇)安尾年逝／銀色の朝、朝の憂鬱(*詩2篇)二五繁人／理想の彼方に(*詩1篇)奥川一也／夕暮、訪れ(*詩2篇)筒井次馬／鬱情(*詩1篇)和田健／小曲(*詩1篇)坂田哲朗／友を送る(*詩1篇)荒木すゝむ／子守唄(*詩1篇)中島重内／愁傷(*詩1篇)縄田眞三／黄昏の想ひ(*詩1篇)田代正介／火(*詩1篇)百束文造／枯松葉(*詩1篇)立野漢(漢)／憂愁のはほ笑み(*詩1篇)浦田青童／氷を割る槌の音(*詩1篇)伊藤正義／春の朝の夢想(*詩1篇)田中眞／一月の微風(*詩1篇)川崎文忠／病める身(*詩1篇)安部史郎

西部戦線(*随筆欄) 122

山口の歌人達(*随筆) 吉山松雄 122

続生氣法について(*随筆) 木村司馬太 124

あぶくのひと、きーこんなことを申しあげてもいいか知らーフランスジャム(*随筆) 方壽院翰太郎 126

常夏荘訪問記(*随筆) 通木逸郎生 128

童仙房より(*随筆) 後藤橋根 129

燭台軟扇子 関門倉若磨 122

信號旗 128

心臓鼓譜(常夏後記) 吉田常夏 131

『燭台』第五卷第五号(昭和六年五月一日発行)



【判型】縦203mm 横180mm

【奥付】

昭和六年四月二十五日 印刷
昭和六年五月一日 発行
発行所 下関市上田中町一三五三 燭台詞寮
編輯所並に発売所 下関市富田屋町(菁莪校裏) 常
夏荘 振替口座下関一二〇七〇番
編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開
介
印刷人 福岡市妙楽寺新町六番地 亀井熊二郎
印刷所 福岡市妙楽寺新町六番地 九州薬報社 電
話三三六三番
定価四十銭

表紙 山名文夫
カット自刻 高島静史

三月と四月の詩話会撮影(*口絵) ノンブル外
燭台詩経(*詩) 河井醉茗 1
研究篇(*評論欄)
萬葉集女流作品の鑑賞(三)(*評論) 田中四郎
2
スクラップ 洗心雑記より(*評論) 磯部節治 7
詩を求める女性に(*評論) 河井醉茗 10
詩篇1(*詩欄)
雪は音楽の姿で(*詩1篇) 服部嘉香 12
二つの服(*詩1篇) 生田花世 13
雲雀よ(*詩1篇) 浦瀬白雨 13
短歌篇1(*短歌欄) 16
楓(*短歌2首)田中四郎/病みて(*短歌7首)大野
満/長崎哀吟(*短歌8首)須田伊波穂/石地蔵尊
(*短歌7首)河野紫行/冬日浴泉(*短歌9首)山田
たくみ/春の折々(*短歌10首)江原青鳥/妹好枝の
霊に捧く(*短歌5首)山本康夫/春光抄(*短歌13
首)宇佐川正明/こがらし(*短歌4首)吉山松雄/
春郊(*短歌7首)直塚淳/春深みゆく(*短歌10首)
南部友也/大雪(*短歌9首)高尾花人/春寒料峭
(*短歌7首)三谷蘆華
散文詩篇(*詩欄)
園丁傳(*詩1篇)吉田常夏 21
母親と其の子、公園(*詩2篇)島田磐也 24
都市の片隅(*詩1篇)米田俊 25
詩篇1(*詩欄) 27

※原紙ではpp27-30が一部失われている。
小林正毅、阿南哲朗の詩が掲載されていたと考えら
れる。

運命は彼を怯怖にする(*詩1篇)越智弾政/追想詩
篇(*詩1篇)浅井紫明/五月消息(*詩1篇)高田念
坊/疲労(*詩1篇)原田種夫/活字台(*詩1篇)中
川愁星/芽生(*詩1篇)和田健華/ニヒリスト(*
詩1篇)北村大学/ペエヴメント(*詩1篇)安尾年
逝/春の憂鬱(*詩1篇)岡山寛聲/霜夜(*詩1篇)
城艸之助/深夜街の風景(*詩1篇)宵島俊吉/古校
舎の裏(*詩1篇)矢野勝美/鉄鉞(*詩1篇)今村茂
芳/幸福の保証を得る為に(*詩1篇)山本静湖/失
意(*詩1篇)江本隆人

詩篇2(*詩欄) 32

窓のうた(*詩1篇)中村伊佐治/望郷の賦、かき餅
によせて詩へる(*詩2篇)萩野健二郎/泪(*詩1
篇)名村春一郎/叱られて(幼き記憶)(*詩1篇)荒
木すすむ/背のび(*詩1篇)松島秋芳/春、土筆(*
詩2篇)山本伸水/洗面(*詩1篇)加藤英一/寂境
(*詩1篇)三澤弥須志/春の海(*詩1篇)千早静馬
/猫(*詩1篇)植谷忠夫/雨(*詩1篇)大田茂/心
(*詩1篇)岡田華秋/太陽(*詩1篇)上田梅花/花
環(*詩1篇)佐川静更/春(*詩1篇)重耕花泉

詩篇3(*詩欄) 36

桜の詩(*詩1篇)木下潤/秋の日の思慕(*詩1篇)
鳥居蕙一/雨の夜、雨、鷗・雲・汽船(*詩3篇)村
山真沙緒/おしろい(*詩1篇)縄田一/春夜点描、
青春(*詩2篇)なしま・たけし/春宵・光彩交響楽
(*詩1篇)福田葉瑠雄/甦る春(*詩1篇)小島あき
ら/口笛(*詩1篇)川崎文忠/秋の夜(*詩1篇)小
柳紫風/春雨、小門海峡(*詩2篇)和田十寸/春(*
詩1篇)小山辨二/芽生え(*詩1篇)山下清治/二
時間余(*詩1篇)田加林一鳩

詩篇3(*詩欄) 41

彼(1章方法ノ序曲)、春(*詩2篇)芳野市衛/幽霊
のやうなもの(*詩1篇)山田牙城/パイプの中の悲
劇、四十女、春(*詩3篇)原田昭二/さぼてんの午
後、壁、石橋(*詩3篇)古賀麻人/敬虔な祈り(*
詩1篇)坂田哲朗/冬の終りに、正午(*詩2篇)相
知行夫/秘密(*詩1篇)青木風景/夢(*詩1篇)
五十嵐麟

短歌篇2(*短歌欄) 44

友死す(*短歌7首)前田喜代人/父に(*短歌5首)
出口繁数/玉子酒(*短歌18首)河内山茂/居残(*
短歌5首)帆足美緒/哀感(*短歌14首)橋爪崑松/
春の雪(*短歌6首)松隈秀夫/春のいぶき(*短歌
11首)東原白村/笥の音(*短歌12首)夢島潮花/門

司風師山にて(*短歌5首)荒木つたゑ/雑詠(*短歌13首)中野三郎/生活断唱(*短歌13首)岩本哀汐/窓(*短歌5首)御喜戒三

女人風景短歌篇1(*短歌欄) 49

室積湾(*短歌23首)河本よし子/退院前後(*短歌8首)山本しづ子/退院(*短歌17首)中川芳江/春さりて(*短歌18首)吉田眞須子/近詠六首(*短歌6首)三好敏子

展望地図(*随筆欄) 53

三月号の詩(*評論)加藤介春/前号歌評(*評論)吉山松雄/記念号を手にして(*随筆)阿南哲朗/三月歌会記(*随筆)吉山松雄/三月の詩話会(*随筆)とこなつ

短歌篇3(*短歌欄) 59

朝風集(*短歌15首)小塚龍生/芹摘み(*短歌9首)、田園(*短歌9首)小西涙果/野に遊ぶ(*短歌10首)佐藤幸夫/春の夜(*短歌5首)松本真砂路/別離(*短歌3首)若月石舟/腎臓結核に罹る(*短歌4首)、春(*短歌2首)福本龍王/病児(*短歌3首)、山火事(*短歌5首)、春景(*短歌4首)岩中不孤/裏山(*短歌4首)、山の春(*短歌6首)、風作り(*短歌2首)大橋柏堂/留守居(*短歌7首)奥田安兒子/卒業式(*短歌4首)上城多苦味/春(*短歌10首)山本伸水/哀歌(*短歌6首)山本滋穂/斜影集(*短歌15首)岡本紫秋/禁酒(*短歌5首)相良死華路/生活断片(*短歌7首)中川琴磨留/銀簪(*短歌5首)三井章之助

女人風景 短歌篇2(*短歌欄) 62

春陽集(*短歌9首)冷泉淳子/落葉(*短歌3首)竹本末子/姪(*短歌6首)巴城茂二香/春の幻(*短歌13首)花田敬子/冬草集(*短歌9首)川崎綾子/雑詠(*短歌8首)常盤すみれ/雑詠(*短歌6首)黒木哲子/朝霧(*短歌4首)畑あや子/春雷(*短歌3首)幸啓子/桜(*短歌2首)前原花子/夕潮(*短歌2首)水城京子/春を待つ(*短歌1首)赤司しをん/思ひ出(*短歌3首)柴崎斐子/青菜(*短歌2首)葛城カツミ/月光(*短歌3首)山本小窓

女人風景 詩篇1(*詩欄) 64

紅さした唇、をとめの日(*詩2篇)関屋みつる/此の頃、厄年、心を捨てる(*詩3篇)相澤群子/悲しみ、春の朝(*詩2篇)丘玲子/絶望、夜の海(*詩2篇)山本春子/スキートホーム(*詩1篇)小原孔雀子/今宵、春(*詩2篇)柴田政子/私の心(*詩1篇)白石皐月/涙(*詩1篇)井川末子/月見草、

あの人(*詩2篇)田口秀子/エプロン(*詩1篇)葛城紅椿/淋しき夕浜(*詩1篇)山下満智子/一人旅(*詩1篇)筒井敏子/昼顔、夜(*詩2篇)田中友子 女人風景 詩篇2(*詩欄) 68

倦怠、チレンマ(*詩2篇)三木政子/運命、紙一重の心(*詩2篇)渡邊和子/マダム(*詩1篇)原田エミキ/四条小景(*詩1篇)三浦みさを/春の夜(*詩1篇)藤井千代美/謎(*詩1篇)巴城茂二香/草笛(*詩1篇)竹本末子/白日夢(*詩1篇)椎原美和子/返事(*詩1篇)末村茂子/思ひ出、姉は寂しい(*詩2篇)平野小琴/いばらの路(*詩1篇)田島政恵

歌謡篇1(*詩欄) 72

山村、狭間の春(*詩2篇)後藤檜根/農民小唄、梅の鶯(*詩2篇)角田啓/隣の婿、鳥(*詩2篇)山崎光朗/お万(*詩1篇)中尾仙松/地唐踏み(*詩1篇)山本小窓/機織り唄(*詩1篇)橋本良輔/粳種音頭(*詩1篇)西野紅鶴/溶鉄出し(*詩1篇)岡部みのる

歌謡篇2(*詩欄) 75

かしは餅、あなたにおぼえの、春の畑うちや(*詩3篇)後藤加奈緒/春日閑吟、冬の夜に(*詩2篇)持田勝穂/初恋の唄(*詩1篇)中村暢/朝風の唄、憎まれ役(*詩2篇)徳光佳秋/様の心、旅鳥(*詩2篇)江島菁子/捨てちよけ、町場(*詩2篇)逸木ミノル/短章二篇(*詩1篇)角田實/月夜鳥、浮世の風(*詩2篇)壹岐本まさを/河原、若い雲(*詩2篇)後藤愛一/失恋(*詩1篇)山田乙伴/すみれ、騙されて(*詩2篇)川添露

歌謡篇3(*詩欄) 79

豆の葉、すずめ豌豆(*詩2篇)佐野操/稲佐小唄(*詩1篇)下田陽炎/壹岐芦辺夜唄(*詩1篇)定村康文/情なさ(*詩1篇)筒井次馬/お仙の恋(*詩1篇)福富玲児/侍人形(*詩1篇)窪田昏宵/山寺(*詩1篇)森永笛流/春雨(*詩1篇)藤井詩津緒/水車小屋(*詩1篇)浦田青龍/ダイさん(*詩2篇)高木時熊

詩篇5(*詩欄) 82

腕は——杉原広儀へ——、蠅(*詩2篇)原善磨/屑のロボット(*詩1篇)桑野潜/お金がないからつて、赤ん坊が泣いてゐる(*詩2篇)白石軍司/母のゐる記録(*詩1篇)山本秀雄/心臓の激昂する時(*詩1篇)五丈源砂耕/農村の朝は詩だ(*詩1篇)西田啓一郎/1931年の太陽と蛙(*詩1篇)谷武志/や

つて見せる(*詩1篇)船津松雄/失業(*詩1篇)安部夏美

短歌篇4(*短歌欄) 87

春の植生園(*短歌7首)田坂秀雄/ふるさと(*短歌4首)福田重雄/随感集(*短歌7首)村上虚詩/探梅行(*短歌4首)八幡音吉/若草(*短歌3首)安尾年逝/見菅生滝(*短歌5首)岡部みのる/夢(*短歌3首)田中幸雄/雑詠(*短歌3首)矢名子/雑詠(*短歌7首)福本徳壽/春雑詠(*短歌3首)浅屋郁之介/旅立つ友(*短歌3首)江島菁子/筑紫野(*短歌3首)筒井抱夢/車(*短歌5首)高木時熊/焰(*短歌2首)林圭之助/雑詠(*短歌3首)坂井速夫/我(*短歌3首)山田仙丹/笹の葉(*短歌2首)山中壽郎/春(*短歌2首)浦田青龍/桜花(*短歌2首)江本隆人/追憶(*短歌3首)清水五郎/足(*短歌2首)森山信義/幼児(*短歌1首)小山辨二

短唱篇(*詩欄) 89

雑草(*詩1篇)後藤哀子/子の笑顔(*詩1篇)吉本万二郎/子を死なす、絶望の日続く、断たれても、追憶、多情多恨(*詩5篇)西江詩朗/弔意(*詩1篇)柳原歌津詩/断唱(*短歌7首)藤井喜作/一年、初秋、山陰旅情(*詩3篇)栗湯河土呂之介/春と心(*詩1篇)豊村紫陰/暗き人の児(*短歌6首)松ノ木淳

彼氏彼女氏(*随筆欄)

春月の死と人生(*随筆) 倉員放鳥 92

詩人印象記(1)(*随筆) 越智弾政 95

海峡隧道(*雑録欄) 96

結婚と私(*随筆)高島静史/便り(*詩1篇)通木逸朗/はるのMEMORANDUM(*随筆)方壽院翰太郎/亡き夫を偲ぶ(*随筆)井上狂子/若草の床に(*詩1篇)柳澤晃/春秋座小感(*評論)松江八郎/私の生気生活(*随筆)木村司馬太/動かぬ時計(*短歌13首)山下凡夫/椿の花(*小説)村田狂夢/貧乏詩人の日記(*詩1篇)原源二

燭台軟扇子 96

四月詩歌会録 103

燭ダイアリー 105

掲示板 106

燭台名簿 107

心臓鼓譜 常夏後記 吉田常夏 108

燭台清規・送稿規定 ノンブル外

『燭台』第五卷第六号(昭和六年六月一日発行)



【判型】縦209mm 横186mm

【奥付】

昭和六年五月二十五日 印刷/昭和六年六月一日発行

発行所 下関市上田中町一三五三 燭台詞寮

編輯所並に発売所 下関市富田屋町(菁莪校裏) 常夏荘 振替口座下関一二〇七〇番

編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介

印刷人 福岡市妙楽寺新町六番地 亀井熊二郎

印刷所 福岡市妙楽寺新町六番地 九州薬報社 電話三三六三番

定価 四十銭

表紙 山名文夫

製版 山本政治

カット自刻 前田薫仁

カット自刻 高島静史

燭台詩経(*詩) 河井醉茗 1

短歌篇1(*短歌欄) 2

夜間飛行(*短歌5首)大野満/晩春(*短歌2首)藤崎杏水/大阿蘇(*短歌12首)高尾朝花/このごろ(*短歌6首)竹内八郎/早春(*短歌5首)宇佐川正明/羈旅小品(*短歌8首)古谷以和雄/春光(*短歌4首)吉山松雄/世相觀望(*短歌7首)三谷蘆華

／貯水池(*短歌3首)田中四郎／白芙蓉抄(*短歌44首)菊地剣

散文詩篇(*詩欄) 7

小さい仲間(*詩1篇)米田俊／兄妹愛——郁さんに捧ぐ——、憎愛(*詩2篇)島田磐也／吹雪の薄暮——或る女人への唄——(*詩1篇)原田種夫／堇の夜、オランダ(*詩2篇)江口隼人

歌謡篇1(*詩欄) 13

霧島音頭(*詩1篇)持田勝穂／雨後の陽が照りや、安珍清姫(*詩2篇)後藤加奈緒／入港の唄、別府夜調(*詩2篇)中村暢／犀川春祭(*詩1篇)逸木ミノル／春の小夜楽(*詩1篇)田中善雄

歌謡篇2(*詩欄) 16

月見草(旅中哀詠)(*詩1篇)阿南哲朗／若い兵隊さんの歌(*詩1篇)寺田友市／農民小唄(*詩1篇)角田啓／鳩ボツポ(*詩1篇)渡邊去夢／ねぎ坊主、船頭子守唄(*詩2篇)後藤愛一／浜の唄、絵日傘(*詩2篇)定村康文／帆柱山、可愛い君さま(*詩2篇)壹岐本まさ緒／掌編草紙(*詩1篇)徳光佳秋／夏橙、蛙、日和待ちして、川端柳(*詩4篇)山崎光朗／十八娘(*詩1篇)江島菁子

歌謡篇2(*詩欄) 20

虫の宴会(*詩1篇)佐野操／子雀(*詩1篇)新田萬次
女人風景 詩篇1(*詩欄) 21

退屈な日、夜の空(*詩2篇)山本春子／五月、晩春(*詩2篇)三浦みさを／五月の野に歌ふ(*詩1篇)千々松俊子／霊の嘆き、丘にのぼりて(*詩2篇)渡邊和子／母と子(*詩1篇)三木正子／奪はれしもの、ベーベルよ(*詩2篇)恵良壽子／夜の花(*詩1篇)赤司しをん

女人風景 詩篇2(*詩欄) 24

五月、初夏、ある日(*詩3篇)相澤群子／青春は?、白い真砂(*詩2篇)諫川美和／初恋の思ひ出が、無題(*詩2篇)丘玲子／あしあと(*詩1篇)磯永つる子／ゆめ(*詩1篇)柴原千孔子／はかなきもの(*詩1篇)水城京子／窓辺(*詩1篇)常盤すみれ／今宵(*詩1篇)白石皐月／呪ひ(*詩1篇)竹村華子／孤舟(*詩1篇)山本小窓／雨の夜(*詩1篇)竹本末子
女人風景 短歌篇1(*短歌欄) 27

春雑詠(*短歌21首)河本よし子／田園雑唱(*短歌12首)吉田眞須子／香料の匂ひ(*短歌11首)山本しづ子／海棠の花(*短歌8首)浮木芙詩恵／筑後八女(*短歌9首)川崎綾子／皐月風(*短歌4首)小杉とし子／いのり(*短歌4首)三戸すみ子

短歌篇2(*短歌欄) 30

波の穂(*短歌5首)前田喜代人／木本氏御夫妻へ(*短歌8首)河内山茂／映陽集(*短歌16首)菅本柴秋／巢を立つ雀(*短歌7首)松隈秀夫／歯を病みて(*短歌5首)原田奈々郎／雑詠(*短歌5首)荒木つたゑ／春寒抄(*短歌3首)小塚龍生／川棚温泉(*短歌12首)夢島潮花／狗留孫山の雨(*短歌9首)岩本哀汐／雑詠(*短歌13首)福永徳壽／別離(*短歌7首)田坂秀雄／野遊び(*短歌6首)小西涙果／卯の花(*短歌4首)上城多苦美／郷里に浸りて(*短歌12首)橋爪嵯松

評論篇(*評論欄)

スクラップ 洗心雑記より(*評論) 磯部節治 35
プロレタリア文学への一考察(*評論) 高島静史 37

文芸座談会(*座談会) 40

磯部節治、馬場星湖、西江詩朗、西野久一、方壽院翰太郎、富永徳司、萩野健二郎、河内山茂、吉田常夏、吉田玉の緒、田辺英亮、高島静史、柳楽忠雄、中村暢、村山真沙緒、浦川常治、山下寛治、山本春子、阿南哲朗、北村大学、岩中不孤、岩本輝夫、新谷竹穂、松極雅胤、九州日報支局篠原氏、大阪朝日支局村尾氏、大阪毎日支局中井氏

詩篇1(*詩欄) 48

風、陰影の散歩、波(*詩3篇)萩野健二郎／浅い春の雨、猫柳(*詩2篇)名村春一郎／午後の公園(*詩1篇)田中野火流／祭礼(*詩1篇)山田牙城／鶴の詩(*詩1篇)木下潤／都会詩篇(*詩1篇)浅井紫明／春の郊外、日曜日の朝(*詩2篇)高杉幸雄／自然の療法(病院のポプラ、一声の味はひ)(*詩2篇)荒木すゝむ／思ひ出の島、風(*詩2篇)三澤弥須志／都会の灯、夜の道(*詩2篇)筒井抱夢／早春(*詩1篇)西田元憲

詩篇2(*詩欄) 52

点景、ロオランサンの絵具、ダイヤモンドゲエム、白日夢、日曜日(*詩5篇)東潤／海街、侠客、悲劇論、人間(*詩4篇)池田龍雄／情炎、焰(火事場にて)(*詩2篇)縄田一／亡霊(*詩1篇)高武隆／悔恨、月(*詩2篇)小柳紫風／太陽よ、制欲(*詩2篇)相知行夫／蜜蜂(*詩1篇)平佐量一／雷雨(*詩1篇)福富玲児／猫の死(*詩1篇)和田健／去つた心(*詩1篇)和田十寸

詩篇3(*詩欄) 56

鶯(*詩1篇)原善磨／せいくわつ、期待するもの(*

詩2篇)駒田博史／機関車を見て(*詩1篇)中川愁星／鉱石(*詩1篇)今村茂芳／満たされぬ心(*詩1篇)伊藤紫水／長屋の雑記帳(*詩1篇)藤原親信／或る断片(*詩1篇)諸茂郎／施盤工、休息(*詩2篇)安部夏美／ある(2字判読不可)宿(*詩1篇)安部恒夫／夜餐(*詩1篇)大西七三郎／燕さん(*詩1篇)山田竹秋

詩篇4 (*詩欄) 60

詩の壺(*詩1篇)北村大学／我が心、ルンペンプロの唄える(*詩2篇)静河克美／鈴懸(*詩1篇)城艸之介／虞美人草、マツチの軸(*詩2篇)山本政治／親は尊し、初夏(*詩2篇)植谷忠夫／早春(*詩1篇)矢野吉晴／沈む夜半(*詩1篇)上城多苦味／春の菊ヶ浜に立ちて(*詩1篇)谷武志／夜鶯のやうに歌つた(*詩1篇)五十嵐麟／いさかひ(*詩1篇)小山辨二／汽船に乗りて(*詩1篇)加藤英一／啞少女(盲啞学校にて)(*詩1篇)上利芳麗／夕べのモクレン(*詩1篇)山下若水／白薔薇(*詩1篇)重柗花泉／春の夜(*詩1篇)安部史郎／明けゆく風景(*詩1篇)吉田恒

詩篇5 (*詩欄) 65

手(*詩1篇)吉田常夏／路、出産(*詩2篇)原田昭二／配色(*詩1篇)坂田哲朗／春の海中とほく、六月(*詩2篇)村山真沙緒／林檎、五月と娼婦(*詩2篇)千早静馬／夜の街(*詩1篇)福田重雄／春の月、魚群を追ふ私(*詩2篇)松島秋芳

展望地図 69

五月号の詩(*評論)加藤介春／新人の詩評(五月号)(*評論)荻野健二郎／前号歌評(*評論)大野満／民謡欄偶語(*評論)吉田常夏／皐月歌会の記(*随筆)吉山松雄

燭台軟扇子 73

常夏荘の二小集(*随筆) となつ 73

昭和六年 年間歌集読後感(*評論) 吉山松雄 75
批評を求むる詩 75

五月の鴉、夜、深夜、紫陽花の咲くころ、六月の朝と僕、人生(*詩6篇)

短唱篇(*詩欄) 77

日記抄(*詩1篇)田中野火流／からたちの花(*詩1篇)なしま・たけし／若さ(*詩1篇)西江詩朗／過程(*詩1篇)松ノ木淳／旅(*詩1篇)佐藤保夫／借金と父(*詩1篇)柳原歌津詩

短歌篇3 (*短歌欄) 79

芽(*短歌9首)岩中不孤／金魚(*短歌14首)福本龍

王／日向野(*短歌9首)大橋柏堂／七つのころ(*短歌8首)三井章之助／父母の歌(*短歌9首)中川琴磨留／病床雑詠(*短歌7首)奥田妥兌子／弟の死(*短歌7首)山本伸水

彼氏・彼女氏(*随筆欄)

詩人印象記 その1 (*随筆) 越智弾政 82

金子みすゞのことも(*随筆) 上山雅輔 83

結婚した中村正常氏(*随筆) 方壽院翰太郎 84

八幡のリーダー(*随筆) 池田龍雄 86

基金寄贈芳名録 86

女人風景 短歌篇2 (*短歌欄) 87

山峡の春(*短歌7首)冷泉淳子／まつり日(*短歌5首)可二生信子／子供(*短歌7首)巴城茂二香／若葉の頃(*短歌8首)花田敬子／星かげ(*短歌2首)高橋憲子／船室にて(*短歌4首)渡邊こはる／山火事(*短歌3首)野末千代子／雑詠(*短歌2首)山本小窓／雑詠(*短歌3首)白石皐月

短歌篇4 (*短歌欄) 88

病院にて(*短歌4首)松ノ木淳／高原(*短歌5首)望田真二／鯉幟(*短歌4首)河田千代治／雑詠(*短歌5首)阿部史郎／雑詠(*短歌3首)森山信義／藤の花(*短歌4首)八幡音吉／友をいたむ(*短歌1首)山田仙丹／山に来て(*短歌4首)遠藤紫峰／春(*短歌2首)筒井抱夢／春蟬(*短歌3首)五十嵐曙夢／望郷(*短歌6首)逸木みのる／日車の花(*短歌1首)坂井速夫／時の動き(*短歌1首)高杉二川／旅に行く(*短歌1首)高野光雄／白帆(*短歌1首)千早静馬／日曜(*短歌1首)島田常夫／春(*短歌1首)江隈幹雄／母(*短歌1首)金森龍／冬の朝(*短歌1首)山田義徳／春は逝く(*短歌1首)大園重則

海峡隧道(*雑録欄) 90

啄木調と私の立場(*評論)山下寛治／益田にて(*随筆)青木風景／病院風景(*詩1篇)原田昭二／温泉小景(*小説)井上京子／この感激(*詩1篇)安本勝美

燭ダイアリー 90

掲示板 94

心臓鼓譜 常夏後記 吉田常夏 96

燭台名簿(二) 98

燭台清規、送稿規定 ノンブル外

『燭台』 第五卷第七号(昭和六年七月一日発行)



【判型】 縦213mm 横184mm

【奥付】

昭和六年六月二十五日 印刷／昭和六年七月一日
発行

発行所 下関市上田中町一三五三 燭台詞寮
編輯所並に発売所 下関市富田屋町(菁莪校裏) 常
夏荘 振替口座下関一二〇七〇番

編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開
介

印刷人 福岡市妙楽寺新町六番地 亀井熊二郎

印刷所 福岡市妙楽寺新町六番地 九州薬報社 電
話三三六三番

定価 四十銭

表紙 山名文夫

写真 山本政治

カット 前田薫仁

カット 高島静史

或る日の常夏荘 河内山茂・吉山松雄・吉田常夏の
三氏(*写真) 1

詩篇(*詩欄) 2

孔雀(*詩1篇)加藤介春/皮膚の悲劇、地球のあち
ら側で(*詩2篇)江口隼人/蜘蛛、空虚(*詩2篇)
荻野健二郎/海愁(*詩1篇)平野壽太郎/郷愁、ア

パート(*詩2篇)原田昭二/彼女と彼(*詩1篇)
五十嵐麟/かねたたき(*詩1篇)城艸之介/愛(*
詩1篇)植谷忠夫

詩篇2 (*詩欄) 6

揺籃をゆすろう(*詩1篇)鳥居恵一/禽鳥誌抄(*
詩8篇)東潤/わたしのこころのなかでひとすぢの
川がながれてゐる(*詩1篇)木下潤/紊れた家系図
に泣く娘(*詩1篇)園田純治/聖(*詩1篇)畑中麓
/小景、白い海岸線風景(*詩2篇)村山真沙緒/傑
作、SABOTAGE(*詩2篇)内田光彌/高価な標本、
寂しい容器(*詩2篇)高武陶村/鬚、子供が生れた
(*詩2篇)川崎文忠/月、金、燕(*詩3篇)和田十
寸/憂鬱の都会(*詩1篇)小柳紫風/春、晩春(*
詩2篇)牟田義光/愛欲(*詩1篇)藤元まさる

短歌篇1 (*短歌欄) 12

身邊多忙(*短歌3首)菊地剣/若葉(*短歌3首、
長歌1首)大野満/花(*短歌2首)藤崎杏水/業余
(*短歌9首)小方秋良/病床吟(*短歌14首)江原青
鳥/母(*短歌8首)山下信/南天燭(*短歌3首)宇
佐川正明/福井城址(*短歌6首)吉山松雄/生くる
日のために(*短歌13首)竹内八郎/五月雜詠(*短
歌11首)西田嵐翠/某日(*短歌2首)田中四郎

転嫁(*小説)高島静史 16

燃ゆる太陽(*小説)岡村信一 20

詩篇3 (*詩欄) 22

なべては終りぬ(*詩1篇)越智弾政/火山脈、河
(*詩2篇)原善磨/獣(*詩1篇)原田種夫/破つて
はならない風景、五月と俺(*詩2篇)高杉幸雄/葬
列、雄凶(*詩2篇)縄田一/生活を踊る、梅雨(*
詩2篇)駒田博史/川(*詩1篇)中川育一/夏(*詩
1篇)相知幸雄/生活の庭園師、枯れた花束(*詩2
篇)田中英雄/理髪屋(*詩1篇)荒木すゝむ/木が
ゆらぐ、寂しき風景(*詩2篇)矢野吉晴/五月の風
景(*詩1篇)松島秋芳/梅雨空(*詩1篇)林藤平/
夕べの丘にて(*詩1篇)関山春宵

詩篇4 (*詩欄) 28

秋春短唱(*詩1篇)浅井紫明/海(*詩1篇)吉水敏
/裏町、情感(*詩2篇)伊藤紫水/悲しい追憶(*
詩1篇)坂田哲朗/日記帳、三日月は笑ふ(*詩2
篇)三澤靖/思ひ出(*詩1篇)上城多苦味/春は(*
詩1篇)喜多見美智夫/牛、泥酔(*詩2篇)大和恣
眩生/火葬場(*詩1篇)上利芳麗/レコード・コン
サート(*詩1篇)和田健/夏への行進(*詩1篇)千
早静馬/失業者の歌、食後(*詩2篇)藤原親信/エ

ンドウの花、弱い男の悩み(*詩1篇)坂井速夫/飯事、初夏(*詩2篇)加藤英一/手紙(*詩1篇)鍋島良太郎/浮浪者の死(*詩1篇)志茂義雄/初夏(*詩1篇)筒井抱夢/手紙、みつ豆(*詩2篇)船津松雄/感謝(*詩1篇)角川静湖/初夏(*詩1篇)岡田華秋/愛の調(*詩1篇)安本勝美/家鴨(*詩1篇)平佐静更/曇り日(*詩1篇)岡山寛聲/夏一題(*詩1篇)諸茂郎

短歌篇2 (*短歌欄) 35

折々(*短歌4首)出口繁数/戦艦エムデン号(*短歌9首)前田喜代人/七月の歌(*短歌3首)帆足美緒/近詠(*短歌12首)蒲原政次郎/初夏の抒情(*短歌10首)岡本柴秋/子と玩具(*短歌7首)岩本哀汐/不況久し(*短歌12首)河内山茂/みなづき(*短歌3首)小林元/赤間宮(*短歌13首)夢島潮花/座談会の夜(*短歌9首)林圭之介/朝(*短歌6首)安尾年逝/初夏(*短歌6首)大須賀太良/雑詠(*短歌6首)菅本鶴雨/新緑と耶馬(*短歌12首)大橋柏堂/白夜(*短歌2首)三井章之介/初夏をうたふ(*短歌8首)東原白村/病床吟(*短歌5首)橋爪岨松/晩春初夏(*短歌7首)御喜戒三

昭和六年 年間歌集読後感(2) (*評論) 吉山松雄 35

短唱篇(*俳句欄) 41

若葉の頃(*俳句10句)久保白船/三句(*俳句3句)兼崎地橙孫/追はれやうとする(*俳句11句)田中野火流/心景(*俳句9句)西江詩朗/夕風(*俳句4句)青木風景/初夏(*俳句9句)高武陶村/雨の朝素描(*俳句5句)四國三郎/冬(*俳句4句)佐藤保夫/狂へる子(*俳句4句)柳原歌津詩/瞳(*俳句2句)水原健士朗

展望地図(*評論欄) 44

前号歌評(*評論)大野満/六月号の詩(*評論)加藤介春/詩園散歩(*評論)東潤/二十六字詩の提唱(*評論)有光牛聲/批評を求めた詩

燭台軟扇子 48

女人風景 詩篇(*詩欄) 50

悲歎、嬉しい奇蹟(*詩2篇)渡邊和子/哀傷(*詩1篇)関屋みつる/ちぎれ雲、色のつかない夢(*詩2篇)相澤群子/哀しき性(*詩1篇)みき・あけみ/かすかな光、狂つた運命(*詩2篇)立川文字子/をんなごゝろ(*詩1篇)諫川美和/真昼、女よ(*詩2篇)丘玲子/暮、兄(*詩2篇)柴田政子/ネムの木(*詩1篇)末村茂子/セイラーの靴(*詩1篇)金

子千代子/小さいお靴(*詩1篇)山田三十路/切れ糸(*詩1篇)白石阜月

歌謡篇1 (*詩欄) 54

吉田川寸景、あきらめ(*詩2篇)佐野操/糸ぐるま——女工の唱へる——、無題(*詩2篇)島田磐也/農民小唄(*詩1篇)角田啓/

どんと焼け(*詩1篇)紀井魁/梅雨、砂浜(*詩2篇)逸木ミノル/あんこ愛しや、気の故(*詩2篇)徳光佳秋/死んでしまえば(*詩1篇)壹岐本まさ緒/お天道様(*詩1篇)定村康文/迷よた(*詩1篇)山崎光郎/娘心(*詩1篇)小山辨二/床、気にかかる(*詩2篇)江崎静波/あの娘(*詩1篇)藤井詩津緒/芦(*詩1篇)宮崎たねを/手相(*詩1篇)吉田常夏

歌謡篇2 (*詩欄) 58

小夜曲二篇(哀別の唄、月の浮嶽)(*詩2篇)望田勝穂/船は出て行く——(若松港にて)——(*詩1篇)阿南哲朗/春(*詩1篇)渡邊去夢/トロ押し唄(*詩1篇)橋本良輔/大福岡小唄(*詩1篇)田中善雄/下関八丁浜小唄(*詩1篇)江村越郎/下関小唄(*詩1篇)古賀秋帆/新八幡行進曲(*詩1篇)村上馨粟/長崎音頭(*詩1篇)天野雅雪/飛脚(*詩1篇)石井五郎/夢(*詩1篇)誉蕃代

歌謡篇3 (*詩欄) 63

舌切雀(*詩1篇)窪田昏宵/山椒(*詩1篇)森永笛流/子守唄(*詩1篇)江島菁子/だんまり地藏さま(*詩1篇)福富玲児/海の上(*詩1篇)藤村一男/嵐の夜(*詩1篇)井生紫翠/かもめ(*詩1篇)村上幸夫

女人風景 短歌篇1 (*短歌欄) 65

看護(*短歌16首)河本よし子/愛しき姪(*短歌16首)吉田真須子/知人の死(*短歌10首)山本しづ子/燕(*短歌12首)浮木芙詩恵/青簾(*短歌12首)花田敬子/囁目風景(*短歌9首)川崎綾子/雑草(*短歌7首)秋山静江/母の病(*短歌8首)田口秀子/海鳴(*短歌5首)小杉敏子

短歌篇3 (*短歌欄) 69

友の死その他(*短歌14首)岩中不孤/うき日(*短歌5首)山田竹秋/真夜中(*短歌6首)田坂秀雄/若葉山(*短歌6首)田中英雄/病床雑詠(*短歌7首)奥田妥兌子/夢(*短歌5首)上城多苦味/病めば(*短歌6首)松ノ木淳/五月抄(*短歌6首)福永徳壽/黒髪山に登る(*短歌4首)福田重雄/ふるさと(*短歌4首)森山信義/朝光(*短歌3首)

小野杏圃／雑詠(*短歌7首)相良死華路／葉桜並樹(*短歌3首)井手晋生／子供(*短歌3首)濱格一郎／帆柱山(*短歌3首)大園重則／初夏雑詠(*短歌4首)森夏樹

女人風景 短歌篇2 (*短歌欄) 73

三好敏子様に(*短歌14首)巴城茂二香／吾子(*短歌6首)東千代子／初夏(*短歌8首)冷泉淳子／青葉の蔭(*短歌9首)藤井静／春の朝(*短歌3首)山本小窓／病床にて(*短歌6首)渡邊こはる

競泳歌「緑」(*短歌欄) 大野満(選) 75

夢島潮花(*短歌2首)／中原春子(*短歌2首)／小林元(*短歌2首)／田坂秀雄(*短歌1首)／山本しづ子(*短歌1首)／岡本こうほ(*短歌1首)／牟田義光(*短歌1首)／藤木佐千夫(*短歌1首)／岩中不孤(*短歌2首)／安尾年逝(*短歌1首)／森野旅子(*短歌1首)／徳光佳秋(*短歌1首)／竹本末子(*短歌1首)

選後に 大野満 75

籐椅子(*雑録欄) 65

白芙蓉短評(*評論)／生命線を読む(*評論)六月短歌会(*随筆)吉山松雄／故山中俊次氏追悼歌会詠草(*随筆)御喜戒三氏報／八幡支部燭台短歌会報(*随筆)菅本鶴松／掲示板

八幡詩歌座談会(*随筆) 吉田常夏 76

海峡隧道(*雑録欄) 79

雑誌不況時代(*随筆)河井醉茗／萩原朔太郎氏の書簡(*随筆)徳重正人／転居記——或る手紙——(*随筆)米田俊／獵感(*詩1篇)荒木つたゑ／南国詩集「A」(*評論)阿南哲朗／六月畑のピエロ(*随筆)えしろ・にし／ミス初夏(*詩1篇)秋良春夫／身邊雑記(*随筆)萩野健二郎

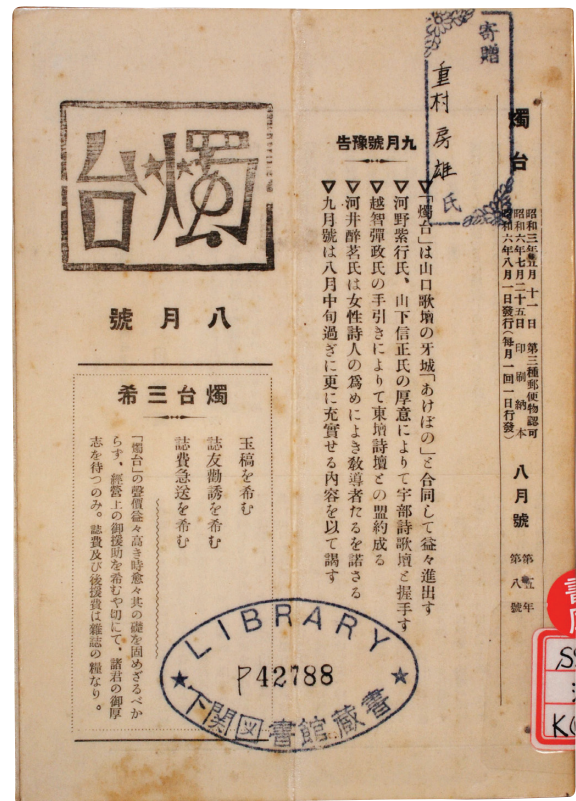
燭台名簿(3) 83

心臓鼓譜 常夏後記 吉田常夏 84

燭ダイアリー 84

燭台清規、送稿規定 ノンブル外

『燭台』第五卷第八号(昭和六年八月一日発行)



【判型】縦180mm 横128mm

【奥付】

昭和六年七月廿五日 印刷／昭和六年八月一日 発行／(毎月一回／一日発行)

編輯 [判読不能] 脇坂開 [判読不能]

印刷人 [判読不能] 西部徳太郎

印刷所 西部教育出版社

発行所 下関市上田中町一三五三 燭臺詞寮

発売所 下関市富田屋町 常夏荘

萩土産(小唄三十三章)(*詩) 吉田常夏

八丁めぐり、萩の雨、土産、萩美人、別れ、山口市 陳謝 吉田常夏

『燭台』第六年第四号(昭和七年四月一日発行)



【判型】縦191mm 横126mm

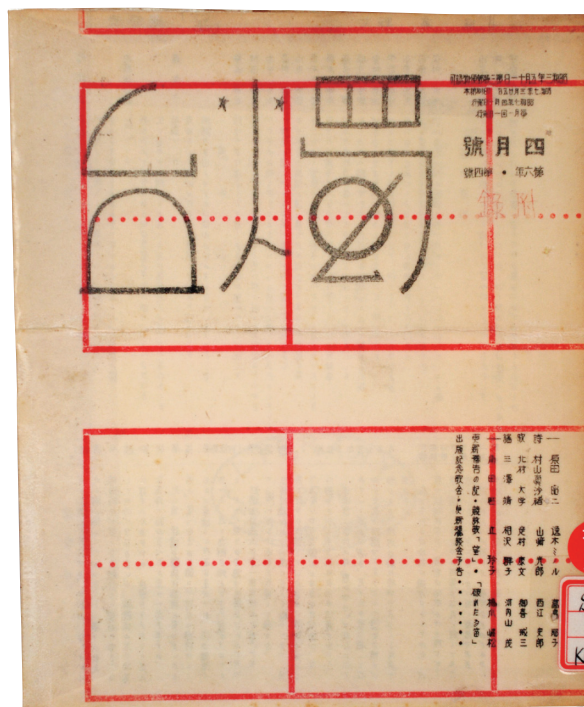
【奥付】

発行所 下関市上田中町一三五三 燭臺詞寮
編輯所並ニ発売所 下関市富田屋町(菁莪校裏) 常夏荘 振替口座下関一二〇七〇番
編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開
[判読不能]
印刷人 下関市上田中町名池山一六八三 真鍋大
[判読不能]
印刷所 下関市上田中町名池小学校前 田圃林社

- 時化(*詩1篇) 原田昭二 1
- 手風琴(*詩1篇) 村山真沙緒 2
- 何處へ行く(*詩1篇) 北村大学 3
- 思ひ出(*詩1篇) 三澤靖 4
- 農民小唄(*民謡1篇) 角田啓 5
- サポテン(*民謡1篇) 逸木ミノル 6
- 酒場(*民謡1篇) 山崎光郎 7
- 雨傘(*詩1篇) 定村康文 8
- その日(*詩1篇) 相澤群子 9

- 鳥よ!(*詩1篇) 丘玲子 10
- あの人恋し(*詩1篇) 高島耶子 11
- 狂った夜(*詩1篇) 西江詩朗 12
- 夏(*短歌5首) 御喜戒三 13
- 姪に(*短歌4首) 河内山茂 14
- 幽を求むる(*短歌5首) 橋爪岨松 15
- 急告 吉田常夏 16

『燭台』第六年第四号附録(昭和七年四月一日発行)



【判型】縦202mm 横168mm

【奥付】

発行所 下関市上田中町一三五三 燭臺詞寮
編輯所並ニ発売所 下関市富田屋町(菁莪校裏) 常夏荘 振替口座下関一二〇七〇番
編輯兼発行 [判読不能] 下関市豊 [判読不能] 脇坂開 [判読不能] 介
印刷人 下関市上田中町名池山一六八三 真鍋大助
印刷所 下関市上田中町名池小学校前 田圃林社

- 競詠歌「望」(*短歌) 大野満選
- (*短歌2首)紅穂生 / (*短歌2首)巴城茂二香 /
- (*短歌2首)森文子 / (*短歌1首)夢島潮花 / (*短歌1首)神田黎二 / (*短歌1首)岩中不孤 / (*短歌1首)森野旅子 / (*短歌1首)山田義徳 / (*短歌1首)吉本万二郎 / (*短歌1首)岡本葉秋 / (*短歌1首)藤井静 / (*短歌1首)徳光佳秋 / (*短歌1

首)重村蒼生/(*短歌1首)中川琴磨留/(*短歌1首)牟田義光/(*短歌1首)内田光弥/(*短歌1首)衣川水千/(*短歌1首)山本しづ子/(*短歌1首)桂圭之介/(*短歌1首)安良木志保子

選後に 大野満

五月「燭台」は更新す 吉田常夏

「破れたる笛」出版記念会歌会記

燭台清規

『燭台』第六年第九号(昭和七年九月一日発行)



【判型】縦212mm 横190mm

【奥付】

昭和七年九月廿五日印刷/昭和七年十月一日発行
編輯兼発行人 下関市豊前田町一三一番地 脇坂開介
印刷人 下関市観音崎町四〇 島村亀松
印刷所 下関市観音崎町四〇 島村印刷

表紙 河村幸次郎

巻頭言 トミナガ 1

市歌批判 2

詞も歌も立派(*評論)榎谷萬作/役人を嗤ふ(*評論)雑賀習之/市歌か死歌か(*評論)幸谷蒼之介/所謂下関市歌とは一片の形式主義である(*評論)高島静史/あまりに高踏的な(*評論)浅野豊子/作曲を期待す(*評論)阿南哲哉/愚民の惑い(新制定市

歌に対する愚見) (*評論)宇良川恒治/批評などは汚顔至極(*評論)木本白汀/意見なし(*評論)白船/女房を持つと詩は作れぬ(*評論)角田啓/親しみ難し(*評論)吉山松雄/思想高邁規格壮嚴(*評論)兼崎地澄孫/百姓家に羽二重の国旗(*評論)海峡草舎主人/人絹の歎あり(*評論)原田昭二/稀に見る傑作(*評論)佐野操/小唄になつては困る(*評論)柳楽忠雄/山田耕作氏の代選か(*評論)松江八郎/良く出来た求婚写真(*評論)佐野木巽/課せられた二つの命題からの展望(*評論)日原方舟/形容詞の羅列(*評論)藤井赤とん坊/高尚にすぐ(*評論)村岡吾一/インチキ市歌(*評論)古谷以和雄/奉書に書いて拝誦(*評論)西江詩郎/プロは歌へぬ(*評論)中島初子/大変結構な作品(*評論)高木真弓/懐郷の念おさえ難し(*評論)米田俊/美辞麗句集(*評論)関谷雀子/街頭歌に応はず(*評論)北村大学/偏頭痛に悩む(*評論)河内正茂/白秋趣味の嫌味(*評論)井家上耕一

燭台オールコンクール 18

俳句記『この頃』(*評論) 兼崎地澄孫 18

小市民層と喫茶店(*評論) 松浦修 20

同人雑誌の夢(*評論) 高島静史 22

猟られる(*随筆) 宇良川恒治 24

明眸集(*短歌欄) 27

折々の歌(*短歌3首、俳句1句)橋爪崕松/犬蓼(*短歌6首)中本美喜子/西田紫行氏へ(*短歌4首)河内正茂/鮮魚市場(*短歌5首)前田喜代人/雑詠(*短歌4首)磯永るり子/蝦とり(*短歌6首)門出福人詩(*詩欄) 27

雨(*詩1篇)磯永るり子/豆満江の岸辺より(*詩1篇)木村秋月/ほゝじろの初旅(*詩1篇)高島耶子/彼の草笛(*詩1篇)井川末子/北窓を愛す、抒情小詩(*詩2篇)北村大学/微風に鳴る浜 散文詩或いは画稿として(*詩1篇)福田葉瑠雄

紅葉(*俳句欄) 燈工俳句会 31

藤谷(*俳句3句)/永江(*俳句4句)/舟道(*俳句6句)/松月(*俳句4句)/小満(*俳句3句)/柴山(*俳句2句)/山溪(*俳句2句)

名月(*俳句11句)秋淋(*俳句11句) タツヲ

編集後記 雀子 32

本稿は令和元年受託研究「「やまぐちの文学者たち」に係る調査・研究」の成果の一部である。